■最新情報について

「会社の概要」および「役員」に関する情報に変更があった場合、最新の情報を下記URLのホームページにて掲載します。
https://www.mazda.com/ja/about/profile/

■マツダ株式会社のその他の情報開示ツール

会社概況に加えて、以下のツールでもマツダの考え方、活動、データの情報開示をしています。

サステナビリティレポート

マツダのCSR（企業の社会的責任）についての報告書
https://www.mazda.com/ja/csr/download/

アニュアルレポート

マツダの投資家向け年次報告書
https://www.mazda.com/ja/investors/library/annual/

有価証券報告書など

https://www.mazda.com/ja/investors/library/s-report/

マツダ株式会社
発　行：マツダ株式会社 広報本部

広島本社：広島県安芸郡府中町新地3-1 〒730-8670
東京本社：東京都千代田区内幸町1-1-7 〒100-0011

発行年月：2019年10月

マツダコールセンター 0120-386-919
受付時間／月～金 9:00～17:00
土日・休日 9:00～17:00（12:00～13:00を除く）

マツダホームページURL
https://www.mazda.co.jp/

COMPANY PROFILE 2019

マツダ会社概況2019

Contents

マツダの全体像
MAZDA AT A GLANCE 01
一目でわかるマツダ
会社概要 02
業績推移 04
役員紹介 06
主な子会社・関連会社.....08
カーラインアップ.....10

マツダのグローバル活動
グローバルでの事業ヒストリー 14
日本 16
北米 20
欧州 22
アジア・大洋州 24
カリブ・中南米・中近東・アフリカ.....28

マツダの歴史
社歴 30

MAZDA AT A GLANCE
一目でわかるマツダ（2019年3月31日時点）

会社創立
1920年1月30日

連結子会社
69社

持分法適用関連会社
18社

従業員数
連結
49,998人

単体
23,087人

資本金
2,840億円

売上高
3兆5,647億円

営業利益
830億円

当期純利益
635億円

事業概況
販売国・地域数
130カ国・地域以上

グローバル生産台数
1,569,665台

グローバル販売台数
1,561,509台

欧州
販売台数
269,778台

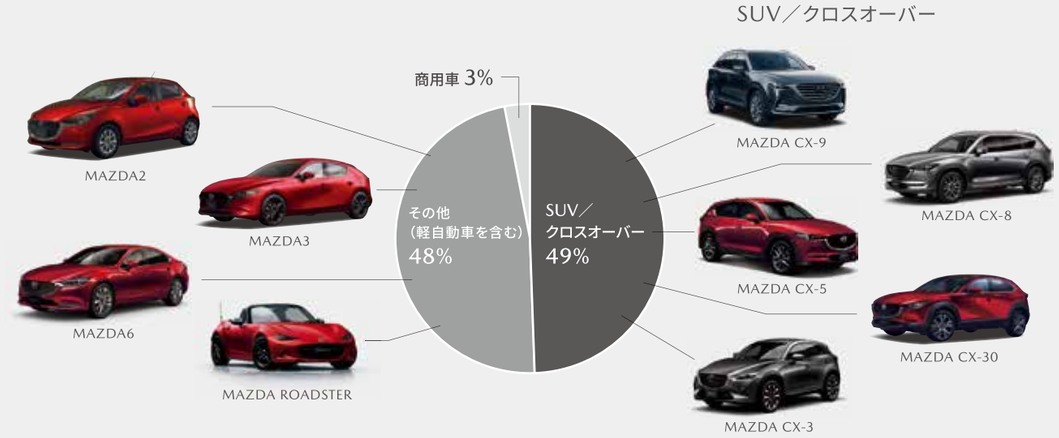
アジア・大洋州
生産台数
390,811台
販売台数
530,373台

日本
生産台数
1,010,160台
販売台数
214,554台
輸出台数
835,892台

北米
生産台数
168,694台
販売台数
419,860台

カリブ・中南米・中近東・アフリカ
販売台数
126,944台

主要商品ラインナップ
モデルタイプ別販売比率（グローバル）



会社概要（2019年3月31日時点）

会社情報

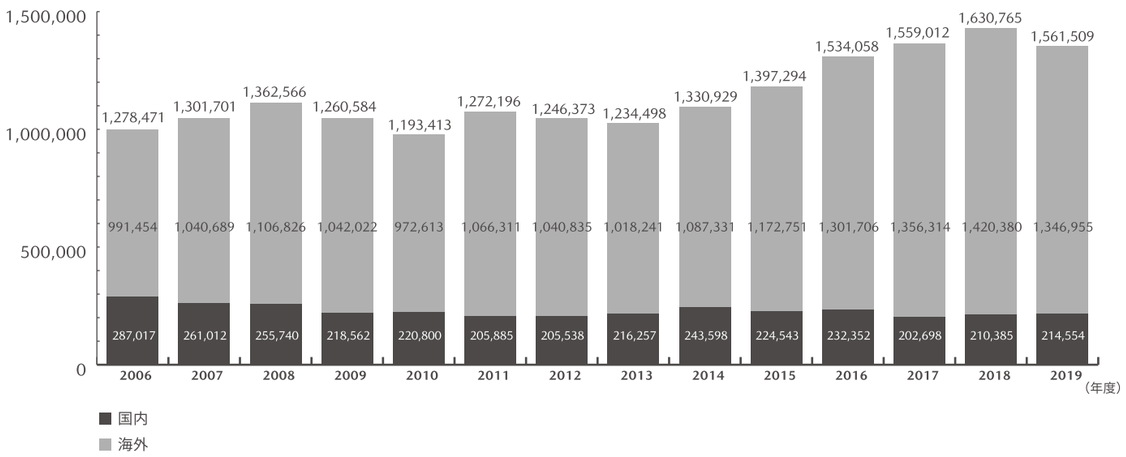
社名	マツダ株式会社（英訳名： Mazda Motor Corporation）
会社創立	1920年1月30日
本社	〒730-8670 広島県安芸郡府中町新地3番1号
代表者	代表取締役社長兼CEO（最高経営責任者） 丸本 明
主な事業内容	乗用車・トラックの製造、販売など
株式	発行可能株式総数　1,200,000,000株 発行済株式総数　631,803,979株 株主数　149,121名

大株主

株主名	持株数（千株）	持株比率（%）
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口）	36,627	5.8
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	36,598	5.8
トヨタ自動車株式会社	31,928	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口9）	15,231	2.4
株式会社三井住友銀行	12,857	2.0
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口5）	12,313	2.0
BNYMSANV AS AGENT/CLIENTS LUX UCITS NON TREATY 1	10,623	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社（信託口7）	9,682	1.5
HSBC BANK PLC A/C CLIENTS 1	9,641	1.5
STATE STREET BANK WEST CLIENT – TREATY 505234	9,328	1.5

* 持株比率は、自己株式2,037,073株を控除して計算しています。

販売台数

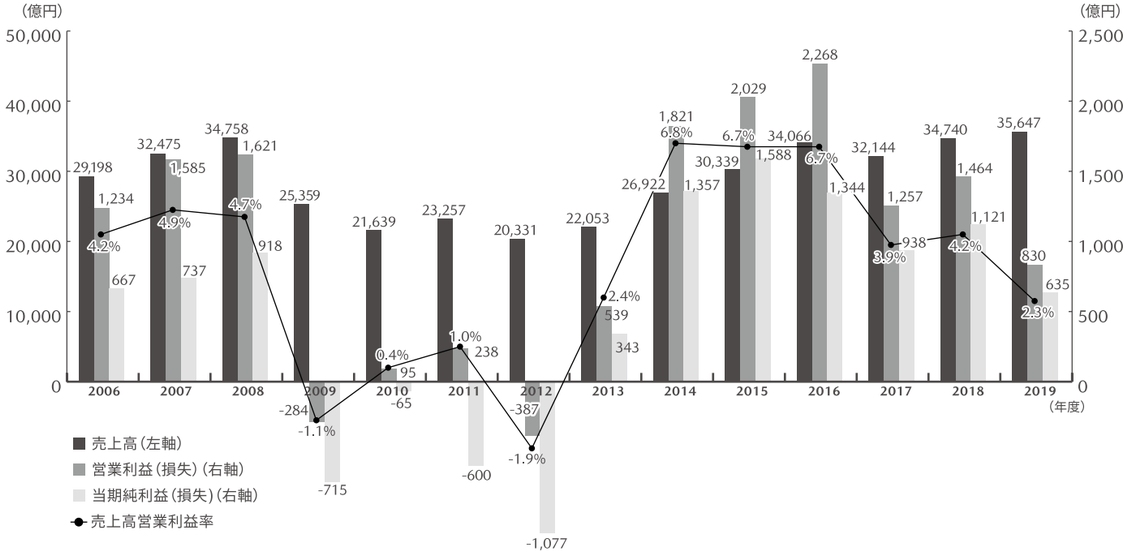


パフォーマンスデータ

資本金	2,840億円
従業員数	単体　合計：23,087名（男性：20,900名　女性：2,187名）（マツダ（株）外部から受け入れた出向者を除き、マツダ（株）外部への出向者を含む） 連結　合計：49,998名（マツダグループ外部への出向者を除き、グループ外部から受け入れた出向者を含む）
研究開発拠点	本社、マツダR&Dセンター横浜、マツダノースアメリカンオペレーションズ（米国）、 マツダモーターヨーロッパ（ドイツ）、中国技術支援センター（中国）
生産拠点	国　内：本社工場（本社、宇品）、防府工場（西浦、中関）、三次事業所 海　外：中国、タイ、メキシコ、ベトナム※1、マレーシア※1、ロシア※1
販売会社	国　内：218社 海　外：140社
主要製品	四輪自動車、ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン、自動車用手動／自動変速機

※1 現地組立のみ（生産台数は公表対象外）

売上高／営業利益／売上高営業利益率／純利益



業績

財務情報

	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019		2019
経営成績[*2]（百万円）：													千米ドル[*1]
売上高[*3]	¥2,535,902	¥2,163,949	¥2,325,689	¥2,033,058	¥2,205,270	¥2,692,238	¥3,033,899	¥3,406,603	¥3,214,363	¥3,474,024	¥3,564,696		$32,114,378
国内	620,336	574,982	541,490	560,216	588,042	655,716	617,397	660,935	587,025	631,229	693,581		6,248,477
海外	1,915,566	1,588,967	1,784,199	1,472,842	1,617,228	2,036,522	2,416,502	2,745,668	2,627,338	2,842,795	2,871,115		25,865,901
売上原価	2,021,851	1,710,699	1,863,678	1,662,592	1,729,296	1,993,643	2,247,720	2,567,465	2,448,184	2,653,600	2,771,952		24,972,541
販売費及び一般管理費	542,432	443,792	438,176	409,184	422,038	516,474	583,291	612,363	640,492	674,003	709,731		6,393,972
営業利益（損失）	(28,381)	9,458	23,835	(38,718)	53,936	182,121	202,888	226,775	125,687	146,421	83,013		747,865
税金等調整前当期純利益（損失）	(51,339)	(7,265)	16,081	(55,262)	39,101	97,409	209,335	166,986	128,413	157,484	108,273		975,432
親会社株主に帰属する当期純利益（損失）	(71,489)	(6,478)	(60,042)	(107,733)	34,304	135,699	158,808	134,419	93,780	112,057	63,476		571,856
設備投資額[*4]	81,838	29,837	44,722	78,040	77,190	133,216	131,010	89,214	94,399	104,129	119,734		1,078,685
減価償却費	84,043	76,428	71,576	68,791	59,954	57,656	68,872	78,972	82,416	86,954	88,443		796,784
研究開発費	95,967	85,206	90,961	91,716	89,930	99,363	108,378	116,610	126,915	136,009	134,660		1,213,153
キャッシュ・フロー：													
営業活動によるキャッシュ・フロー	(67,418)	111,646	15,344	(9,098)	49,033	136,379	204,459	262,770	161,097	207,795	146,690		1,321,532
投資活動によるキャッシュ・フロー	(61,826)	(44,252)	(13,717)	(70,317)	(40,287)	(120,057)	(95,548)	(108,092)	(63,751)	(159,989)	(131,611)		(1,185,685)
フリー・キャッシュ・フロー[*5]	(129,244)	67,394	1,627	(79,415)	8,746	16,322	108,911	154,678	97,346	47,806	15,079		135,847
財務活動によるキャッシュ・フロー	137,008	60,951	(14,360)	236,462	(57,181)	10,483	(62,776)	(94,062)	(149,898)	30,461	83,411		751,450
財政状態（百万円）：													
総資産	¥1,800,981	¥1,947,769	¥1,771,767	¥1,915,943	¥1,978,567	¥2,246,036	¥2,473,287	¥2,548,401	¥2,524,552	¥2,724,092[*10]	¥2,871,018		$25,865,027
純資産	414,731	509,815	430,539	474,429	513,226	676,837	891,326	976,723	1,064,038	1,219,470	1,248,915		11,251,486
有利子負債	753,355	722,128	693,000	778,085	718,983	742,735	701,019	617,132	491,434	497,893	607,051		5,468,928
純有利子負債	532,631	375,825	370,151	300,778	274,108	262,981	171,871	48,418	(35,430)	(106,961)	(94,573)		(852,009)
1株当たり情報（円）：													米ドル[*1]
当期純利益[*6]	¥(52.13)	¥(4.26)	¥(33.92)	¥(57.80)	¥ 11.48	¥ 226.99[*11]	¥ 265.64[*11]	¥ 224.85	¥ 156.87	¥ 182.93	¥ 100.79		$0.91
年間配当金[*7]	3.00	3.00	—	—	—	1.00	10.00	30.00	35.00	35.00	35.00		0.32
純資産[*8]	314.98	286.92	242.24	156.85	166.04	1,105.21[*11]	1,454.61[*11]	1,595.83	1,738.70	1,894.29	1,935.24		17.43
財務指標（%）：													
売上高営業利益率	(1.1)%	0.4%	1.0%	(1.9)%	2.4%	6.8%	6.7%	6.7%	3.9%	4.2%	2.3%		
自己資本利益率（ROE）[*9]	(14.8)	(1.4)	(12.8)	(24.0)	7.1	23.5	20.8	14.7	9.4	10.0	5.3		
自己資本比率[*9]	22.9	26.1	24.2	24.5	25.1	29.4	35.2	37.4	41.2	43.8[*10]	42.4[*12]		
期中平均発行済株式総数（千株）	1,371,456	1,519,652	1,770,198	1,863,949	2,989,171	597,829[*11]	597,823[*11]	597,819	597,816	612,554	629,757		
従業員数（人）	39,852	38,987	38,117	37,617	37,745	40,892	44,035	46,398	48,849	49,755	49,998		

[*1] 日本円金額の米ドルへの換算は、日本国外の読者の便宜のためにのみ記載したものであり、2019年3月31日の実勢為替相場（1米ドルにつき111円）で換算しています。
[2] 海外の子会社の決算期変更に伴い、2011年3月31日終了年度の連結業績には、当該海外子会社の15ヵ月分の業績が含まれています。
[3] 売上高は顧客の所在地を基礎とし、地域に分類しています。
[4] 設備投資額は発生ベースで計算されています。
[5] フリー・キャッシュ・フローは営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの合計を表しています。
[6] 1株当たり当期純利益は、各事業年度の発行済株式数の加重平均に基づいて算出されています。
[7] 1株当たり年間配当金は各事業年度における実際の配当金額を表しています。
[8] 1株当たり純資産の計算における純資産の金額は、連結貸借対照表の純資産の金額より非支配株主持分（及び2009年3月期から2013年3月期まで、並びに2017年3月期から2019年3月期においては新株予約権）を控除した金額を使っています。
[9] 自己資本の金額は、連結貸借対照表の純資産の金額より非支配株主持分（及び2009年3月期から2013年3月期まで、並びに2017年3月期から2019年3月期においては新株予約権）を控除した金額を使っています。
[10]「税効果会計に係る会計基準の一部改正」等を2019年3月期の期首から適用しており、2018年3月期に係る総資産及び自己資本比率については、当該会計基準等を遡って適用した後の数値となっています。
[11] 2014年8月1日付で普通株式について5株を1株の割合で株式併合を行っており、2014年3月期の期首に当該株式併合が行われたと仮定して、期中平均発行済株式総数、1株当たり当期純利益及び1株当たり純資産を算定しています
[12] 劣後特約付きローンの資本性考慮後の比率は、43.7%です。

取締役および執行役員（2019年10月1日時点）

取締役

小飼　雅道
代表取締役会長

1977.4　当社入社
2004.6　当社執行役員防府工場長
2008.4　当社常務執行役員
2010.4　当社専務執行役員
2010.6　当社取締役専務執行役員
2013.6　当社代表取締役社長兼CEO（最高経営責任者）
2018.6　当社代表取締役会長（現）

丸本　明
代表取締役

1980.4　当社入社
1997.6　当社主査本部主査
1999.6　当社取締役
2002.6　当社執行役員
2006.4　当社常務執行役員
2010.4　当社専務執行役員
2010.6　当社取締役専務執行役員
2013.6　当社代表取締役副社長執行役員
2018.6　当社代表取締役社長兼CEO（最高経営責任者）（現）

藤原　清志
代表取締役

1982.3　当社入社
2003.3　マツダモーターヨーロッパGmbH副社長
2005.6　当社商品企画ビジネス戦略本部長
2008.11　当社執行役員
2013.6　当社常務執行役員
2015.4　当社常務執行役員
　　株式会社マツダE&T代表取締役社長
2016.4　当社専務執行役員
2016.6　当社取締役専務執行役員
2018.6　当社代表取締役副社長執行役員（現）

菖蒲田 清孝
取締役

1982.3　当社入社
2006.4　当社防府工場副工場長
2008.11　当社執行役員
　　オートアライアンス(タイランド) Co., Ltd.社長
2013.6　当社常務執行役員
2016.4　当社専務執行役員
2016.6　当社取締役専務執行役員（現）

小野　満
取締役

1981.4　株式会社住友銀行（現 株式会社三井住友銀行）入行
2011.4　同行執行役員国際与信管理部長
2015.6　同行常任監査役
2017.5　当社顧問
2017.6　当社取締役専務執行役員（現）

古賀　亮
取締役

1984.3　当社入社
2002.2　当社経営企画部長
2004.3　当社企画本部長
2008.11　当社執行役員
2011.4　当社執行役員
　　マツダモーターオブ アメリカ,Inc.（マツダノースアメリカンオペレーションズ）執行副社長
2013.6　当社常務執行役員
2016.4　当社専務執行役員
2018.6　当社取締役専務執行役員（現）

毛籠　勝弘
取締役

1983.3　当社入社
2002.8　当社グローバルマーケティング本部長
2004.3　当社マツダモーターヨーロッパGmbH副社長
2008.11　当社執行役員
2013.6　当社常務執行役員
2016.1　当社常務執行役員
　　マツダモーターオブアメリカ, Inc.（マツダノースアメリカンオペレーションズ）社長兼CEO
2016.4　当社専務執行役員
2019.4　当社専務執行役員
　　マツダモーターオブアメリカ, Inc.（マツダノースアメリカンオペレーションズ）社長兼CEO
2019.6　当社取締役専務執行役員（現）

佐藤　潔
取締役

1979.4　東京エレクトロン株式会社入社
2001.12　同社クリーントラックビジネスユニットジェネラルマネージャー
2003.6　同社代表取締役社長
2009.4　同社取締役副会長
2011.6　同社取締役
2014.7　同社顧問（～2016年6月）
2016.6　東京エレクトロン山梨株式会社監査役
2017.6　東芝機械株式会社社外取締役（現）
2017.7　東京エレクトロン株式会社顧問（現）
2019.6　当社取締役（現）

小川　理子
取締役

1986.4　松下電器産業株式会社（現 パナソニック株式会社）入社
2014.5　同社ホームエンターテインメント事業部オーディオ成長戦略担当理事
2015.4　同社役員テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社常務ホームエンターテインメント事業部テクニクス事業推進室長
2015.11　同社役員テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社常務ホームエンターテインメント事業担当（兼）ホームエンターテインメント事業部長（兼）テクニクス事業推進室長
2017.6　同社執行役員テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社副社長ホームエンタテインメント・コミュニケーション事業担当（兼）ホームエンターテインメント事業部長（兼）テクニクス事業推進室長
2018.1　同社執行役員テクニクスブランド事業担当、アプライアンス社副社長技術担当（兼）技術本部長、テクニクス事業推進室長（現）
2018.2　パーソルAVCテクノロジー株式会社取締役（現）
2018.6　一般社団法人日本オーディオ協会会長（現）
2019.6　当社取締役（現）

圓山　雅俊
取締役監査等委員（常勤）

1980.4　当社入社
2010.5　当社品質本部長
2011.4　当社執行役員品質本部長
2015.4　当社常務執行役員
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

安田　昌弘
取締役監査等委員（常勤）

1980.4　当社入社
2002.11　当社先行商品企画室長
2006.4　当社グローバル広報企画部マネージャー
2010.6　当社グローバル広報企画部長
2012.7　当社広報本部副本部長
2017.6　当社監査役
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

坂井　一郎
取締役監査等委員

1968.4　検事任官
1999.12　横浜地方検察庁検事正
2001.5　法務省法務総合研究所長
2002.10　広島高等検察庁検事長
2004.6　福岡高等検察庁検事長
2005.4　弁護士登録（第一東京弁護士会）(現)
2005.6　東レ株式会社社外監査役
2006.2　キユーピー株式会社社外監査役
2007.6　当社監査役
2011.6　当社取締役
2014.2　キユーピー株式会社社外取締役
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

玉野　邦彦
取締役監査等委員

1974.4　伊藤忠商事株式会社入社
1999.1　同社経理部税務室長
2006.6　同社執行役員
2009.4　同社常務執行役員
2010.6　株式会社日本アクセス専務取締役
2011.4　伊藤忠商事株式会社常務執行役員CFO補佐（兼）統合リスクマネジメント部長
2014.4　同社理事
2014.6　株式会社日本アクセス代表取締役副社長
2016.6　同社相談役
2017.6　同社理事
2017.6　当社監査役
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

北村　明良
取締役監査等委員

1974.4　株式会社住友銀行（現 株式会社三井住友銀行）入行
2003.6　同行執行役員
2006.4　同行常務執行役員
2007.4　同行取締役兼専務執行役員
2008.4　同行代表取締役兼専務執行役員
2009.4　株式会社関西アーバン銀行（現 株式会社関西みらい銀行）顧問
2009.6　同行取締役副会長（代表取締役）
2010.3　同行取締役会長（代表取締役）兼最高経営責任者
2016.6　同行顧問
2018.4　アーク不動産株式会社社外取締役（現）
2018.6　当社監査役
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

柴崎　博子
取締役監査等委員

1974.4　東京海上火災保険株式会社（現 東京海上日動火災保険株式会社）入社
2008.7　同社理事お客様の声部長
2010.7　同社理事福岡中央支店長
2012.4　同社執行役員福岡中央支店長
2015.4　同社常務執行役員
2018.4　同社顧問
2019.6　当社取締役監査等委員（現）

執行役員

＊印は取締役との兼務を示します

社長兼CEO（最高経営責任者）

丸本　明＊

副社長執行役員

藤原　清志＊
社長補佐、グローバルマーケティング・販売・カスタマーサービス統括

専務執行役員

菖蒲田　清孝＊
品質・ブランド推進・購買・生産・物流統括

小野　満＊
財務・管理領域統括

古賀　亮＊
企画領域・渉外・MDI&IT統括

毛籠　勝弘＊
北米事業統括、マツダモーターオブアメリカ, Inc.（マツダノースアメリカンオペレーションズ）会長兼CEO

廣瀬　一郎
研究開発・コスト革新統括、パワートレイン開発・統合制御システム開発担当

ジェフリー・エイチ・ガイトン
北米事業・ブランド推進統括補佐、マツダモーターオブアメリカ, Inc.（マツダノースアメリカンオペレーションズ）社長

常務執行役員

藤川　和久
グローバル購買・コスト革新担当

福原　和幸
マツダクレジット株式会社代表取締役社長、マツダ中販株式会社代表取締役社長

前田　育男
デザイン・ブランドスタイル担当

藤本　哲也
企画領域統括補佐、財務担当

渡部　宣彦
中国事業担当、マツダ（中国）企業管理有限公司董事長

井上　寛
豪亜・新興国事業担当、マツダ・サウス・イースト・アジア, Ltd.社長

青山　裕大
欧州事業担当、ブランド推進統括補佐、マツダモーターヨーロッパGmbH社長兼CEO

吉原　誠
管理領域統括補佐、グローバル監査・CSR・環境・秘書・総務・法務・コンプライアンス・リスクマネジメント担当

向井　武司
グローバル生産・グローバル物流・コスト革新担当

川上　英範
グローバル品質担当、コスト革新担当補佐

執行役員

水谷　智春
マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコS.A de C.V.（マツダデメヒコビークルオペレーション）社長兼CEO

相原　真志
米国生産準備室長、マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc.社長

梅下　隆一
ブランド推進・グローバルマーケティング・販売・カスタマーサービス担当

吉田　和久
グローバル人事・安全・病院担当

工藤　秀俊
R&D管理・商品戦略・技術研究所担当

松本　浩幸
車両開発・商品企画担当

小島　岳二
広報・渉外担当

木谷　昭博
MDI&IT本部長

中井　英二
パワートレイン開発本部長

杉山　郁男
米国生産準備室副室長、マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc. 副社長

田中　浩憲
国内営業担当

フェロー

シニアイノベーションフェロー

人見　光夫

主な子会社・関連会社（2019年3月31日時点）

連結子会社 69社

会社名	所在国・地域	所有率	業務内容
マツダモーターオブアメリカ, Inc.	米国・カリフォルニア州アーバイン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダカナダ, Inc.	カナダ・オンタリオ州リッチモンドヒル市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモトールデメヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ・メキシコ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダセルヴィシオスデメヒコS. de R.L. de C.V.	メキシコ・メキシコ市	100.0%	マツダモトールデメヒコに対する人材サービス
マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコS.A. de C.V.	メキシコ・グアナファト州サラマンカ市	75.0%	自動車製造販売
マツダモトールオペラシオネスデメヒコS.A. de C.V.	メキシコ・グアナファト州サラマンカ市	75.0%	マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコに対する人材サービス
マツダモータース（ドイツランド）GmbH	ドイツ・ノルトラインウエストファーレン州レバークーゼン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.	ベルギー・アントワープ州ウィルブローク市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターヨーロッパGmbH	ドイツ・ノルトラインウエストファーレン州レバークーゼン市	100.0%	欧州市場の事業統括
マツダオトモビルフランスS.A.S.	フランス・サンジェルマンアンレイ	100.0%	自動車および部品販売
マツダモータースUK Ltd.	英国・ケント州ダートフォード市	100.0%	自動車および部品販売
マツダスイスS.A.	スイス・プチランシー市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモトールデポルトガルLda.	ポルトガル・リスボン市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターイタリア, S.r.l.	イタリア・ローマ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオートモービルズエスパーニャ, S.A.	スペイン・マドリッド市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオーストリアGmbH	オーストリア・クラーゲンフルト市	100.0%	自動車および部品販売
マツダモーターロシア, OOO	ロシア・モスクワ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダオーストラリアPty. Ltd.	オーストラリア・ビクトリア州モルグレイブ	100.0%	自動車および部品販売
マツダモータースオブニュージーランドLtd.	ニュージーランド・オークランド市	100.0%	自動車および部品販売
マツダセールス（タイランド）Co., Ltd.	タイ・バンコク市	96.1%	自動車および部品販売
マツダパワートレインマニュファクチャリング（タイランド）Co., Ltd.	タイ・チョンブリ県	100.0%	自動車部品製造販売
マツダマレーシアSdn. Bhd.	マレーシア・スランゴール州	70.0%	自動車製造（委託生産）・販売
マツダ（中国）企業管理有限公司	中国・上海市	100.0%	中国市場の事業統括
台湾マツダ汽車股份有限公司	台湾・台北市	100.0%	自動車および部品販売
マツダサザンアフリカ（Pty）Ltd	南アフリカ共和国・ヨハネスブルグ市	70.0%	自動車および部品販売
マツダデコロンビアS.A.S.	コロンビア・ボゴタ市	100.0%	自動車および部品販売
マツダ中販㈱	広島県広島市南区	100.0%	中古自動車販売
マツダモーターインターナショナル㈱	広島県安芸郡府中町	100.0%	自動車販売
マツダエース㈱	広島県安芸郡府中町	100.0%	警備防災、保険販売およびエンジニアリング事業
マツダロジスティクス㈱	広島県広島市南区	100.0%	自動車および部品運送
倉敷化工㈱	岡山県倉敷市	75.0%	自動車部品製造販売
㈱マツダE&T	広島県広島市南区	100.0%	自動車の開発受託及び特装車の架装・販売
マツダパーツ㈱	広島県広島市東区	100.0%	自動車部品の販売
㈱函館マツダ	北海道函館市	100.0%	自動車および部品販売
㈱東北マツダ	宮城県仙台市宮城野区	100.0%	自動車および部品販売
㈱福島マツダ	福島県郡山市	100.0%	自動車および部品販売
㈱北関東マツダ	茨城県水戸市	100.0%	自動車および部品販売
㈱甲信マツダ	長野県長野市	100.0%	自動車および部品販売
㈱関東マツダ	東京都北区	100.0%	自動車および部品販売
静岡マツダ㈱	静岡県静岡市駿河区	100.0%	自動車および部品販売
東海マツダ販売㈱	愛知県名古屋市瑞穂区	100.0%	自動車および部品販売
㈱北陸マツダ	石川県野々市市	100.0%	自動車および部品販売
㈱京滋マツダ	京都府京都市南区	100.0%	自動車および部品販売
㈱関西マツダ	大阪府大阪市浪速区	100.0%	自動車および部品販売
㈱西四国マツダ	愛媛県松山市	100.0%	自動車および部品販売
㈱九州マツダ	福岡県福岡市博多区	100.0%	自動車および部品販売
㈱南九州マツダ	鹿児島県鹿児島市	100.0%	自動車および部品販売
沖縄マツダ販売㈱	沖縄県浦添市	100.0%	自動車および部品販売
その他　21社	―	―	―

持分法適用関連会社18社

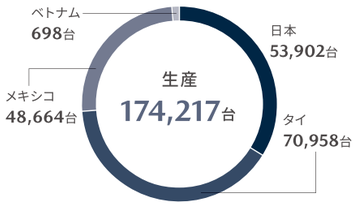
会社名	所在国・地域	所有率	業務内容
マツダトヨタマニュファクチャリングUSA, Inc.	米国・アラバマ州ハンツビル市	50.0%	自動車製造販売
マツダソラーズマヌファクトゥリングルースLLC	ロシア・ウラジオストク市	50.0%	自動車製造販売
オートアライアンス（タイランド）Co., Ltd.	タイ・ラヨーン県	50.0%	自動車製造販売
長安マツダ汽車有限公司	中国・南京市	50.0%	自動車製造販売
長安マツダエンジン有限公司	中国・南京市	50.0%	自動車部品製造販売
一汽マツダ汽車販売有限公司	中国・長春市	40.0%	自動車および部品販売
トーヨーエイテック㈱	広島県広島市南区	50.0%	工作機械製造販売
㈱日本クライメイトシステムズ	広島県東広島市	33.3%	自動車部品製造販売
ヨシワ工業㈱	広島県安芸郡海田町	33.3%	自動車部品製造販売
㈱サンフレッチェ広島	広島県広島市西区	17.1%	プロサッカー球団運営
㈱マツダプロセシング中国	広島県広島市安芸区	29.0%	納車点検・架装
マツダクレジット㈱※1	大阪府大阪市中央区	47.5%※2	自動車販売金融事業
MCMエネルギーサービス㈱	広島県広島市南区	40.0%	電力・蒸気供給事業
マツダ部品広島販売㈱	広島県安芸郡坂町	33.3%	自動車部品販売
その他　4社	―	―	―

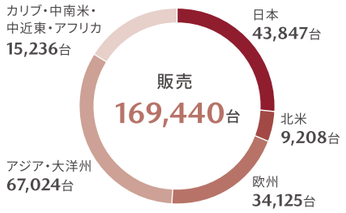
※1　2019年10月1日に変更　　※2　2019年7月31日時点

カーラインアップ ※生産台数、販売台数は2019年3月期実績

乗用車

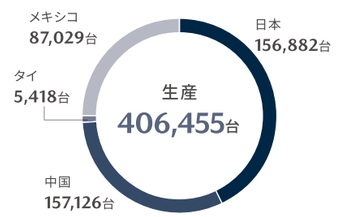
MAZDA 2

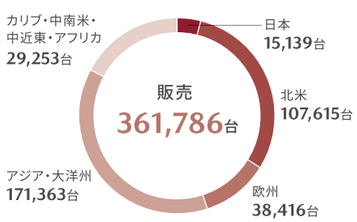




1996	2002	2007	2014	2016		2018	2019
8月 初代 「デミオ」発売	8月 2代目 「デミオ」発売	7月 3代目 「デミオ」発売	9月 4代目 「デミオ」発売	1月 商品改良	11月 商品改良	8月 商品改良	9月 「MAZDA2」発売

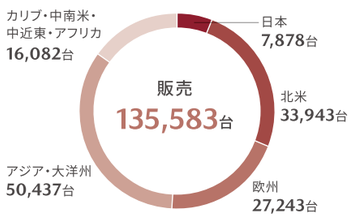
MAZDA 3





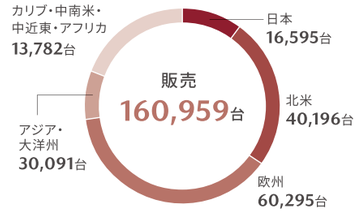
2003	2009	2013	2014		2015	2016	2017	2019
10月 初代 「アクセラ」発売	6月 2代目 「アクセラ」発売	11月 3代目 「アクセラ」発売	9月 商品改良	11月 ハイブリッド車を 商品改良	8月 商品改良	7月 大幅商品改良	8月 商品改良	5月 「MAZDA3」発売

MAZDA 6



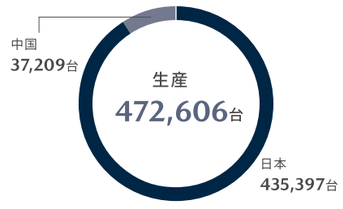
2002	2008	2012	2013	2015	2016	2018	2019
5月 初代 「アテンザ 」発売	1月 2代目 「アテンザ 」発売	11月 3代目 「アテンザ 」発売	11月 商品改良	1月 大幅商品改良	8月 商品改良	5月 大幅商品改良	8月 「MAZDA6」発売

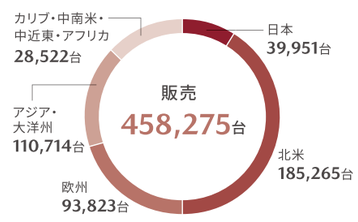
MAZDA CX-3



2015		2016	2017	2018
2月 「CX-3」発売	12月 商品改良	11月 商品改良	6月 商品改良 （ガソリンエンジン車発売）	5月 大幅商品改良

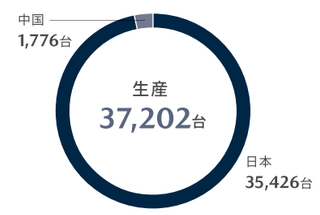
MAZDA CX-5

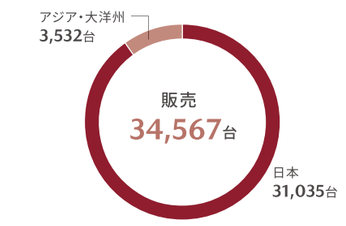




2012	2017	2018	
2月 初代 「CX-5」発売	2月 2代目 「CX-5」発売	3月 商品改良	11月 商品改良

MAZDA CX-8



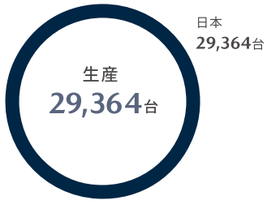


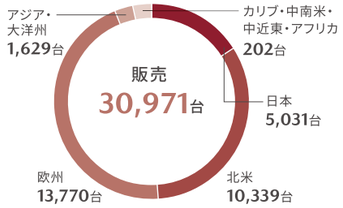
2017	2018
12月 「CX-8」発売	11月 商品改良 （ガソリンエンジン車発売）

カーラインナップ ※生産台数、販売台数は2019年3月期実績

乗用車

MAZDA ROADSTER
(海外市場名：MAZDA MX-5)





1989	1998	2005	2015	2016	2017	2018
9月 「ユーノスロードスター」発売	1月 2代目「ロードスター」発売	8月 3代目 「ロードスター」発売	5月 4代目 「ロードスター」発売	12月 「ロードスターRF」発売	12月 商品改良	7月 商品改良

MAZDA CX-30

▲2019年3月ジュネーブモーターショーにて「CX-30」を世界初公開

2019
10月 「CX-30」発売

海外専用車

MAZDA2 SEDAN

2019年3月期 販売台数
44,293台

MAZDA CX-4

2019年3月期 販売台数
55,987台

MAZDA CX-9

2019年3月期 販売台数
58,796台

MAZDA BT-50

2019年3月期 販売台数
38,289台

軽自動車

MAZDA FLAIR

2019年3月期 販売台数
7,879台

MAZDA FLAIR WAGON

2019年3月期 販売台数
13,572台

MAZDA SCRUM WAGON

2019年3月期 販売台数
1,378台

MAZDA CAROL

2019年3月期 販売台数
5,317台

MAZDA FLAIR CROSSOVER

2019年3月期 販売台数
3,726台

商用車

MAZDA BONGO BRAWNY VAN

※2019年5月発売

MAZDA BONGO VAN

2019年3月期 販売台数
4,523台

MAZDA BONGO TRUCK

2019年3月期 販売台数
6,449台

MAZDA FAMILIA VAN

2019年3月期 販売台数
1,598台

MAZDA TITAN

2019年3月期 販売台数
1,971台

MAZDA SCRUM VAN

2019年3月期 販売台数
6,002台

MAZDA SCRUM TRUCK

2019年3月期 販売台数
2,643台

福祉車両

MAZDA ROADSTER

MAZDA ROADSTER RF

MAZDA 2

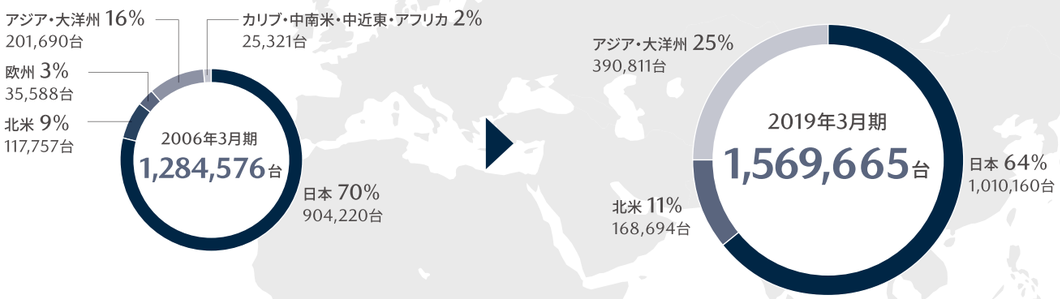
MAZDA CX-5

MAZDA FLAIR WAGON

グローバルでの事業ヒストリー（2019年3月31日時点）

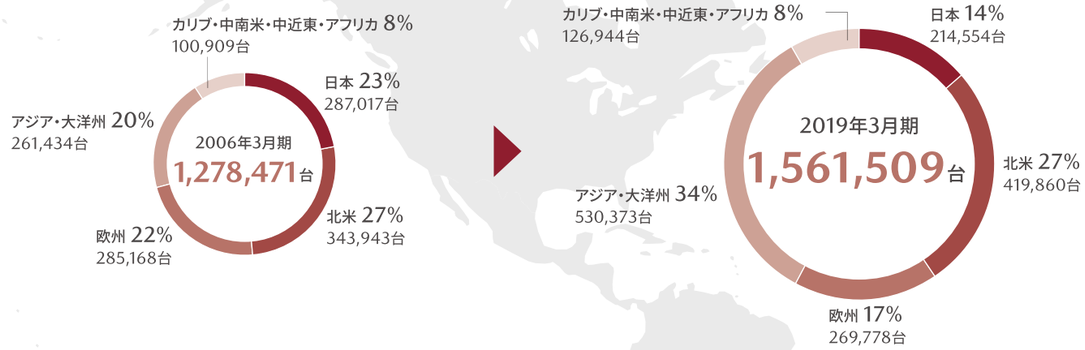
グローバル生産台数

1,569,665台



グローバル販売台数

1,561,509台



グローバル生産台数

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
日本	904,220	967,231	1,046,948	899,448	827,910	866,992	846,574
北米	117,757	78,063	78,412	66,926	49,281	52,600	48,624
欧州	35,588	29,026	5,708	–	–	–	–
アジア・大洋州	201,690	202,150	174,039	149,846	251,125	339,479	276,929
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	25,321	29,120	20,352	17,935	15,188	18,423	13,095
総計	1,284,576	1,305,590	1,325,459	1,134,155	1,143,504	1,277,494	1,185,222

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
日本	879,129	972,533	919,405	989,401	964,640	986,862	**1,010,160**
北米	19,101	10,007	140,089	213,088	195,148	180,445	**168,694**
欧州	–	–	–	–	–	–	**–**
アジア・大洋州	283,201	274,715	306,056	366,109	432,020	452,225	**390,811**
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	18,583	12,041	9,513	2,616	–	–	**–**
総計	1,200,014	1,269,296	1,375,063	1,571,214	1,591,808	1,619,532	**1,569,665**

グローバル販売台数

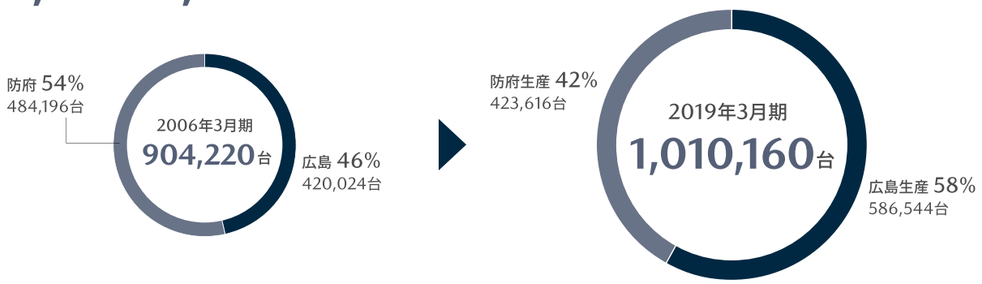
	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
日本	287,017	261,012	255,740	218,562	220,800	205,885	205,538
北米	343,943	374,000	401,243	343,611	303,855	339,712	369,745
欧州	285,168	304,074	326,586	321,645	238,904	211,488	182,683
アジア・大洋州	261,434	251,835	229,174	249,030	323,935	401,987	404,001
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	100,909	110,780	149,823	127,736	105,919	113,124	84,406
総計	1,278,471	1,301,701	1,362,566	1,260,584	1,193,413	1,272,196	1,246,373

	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
日本	216,257	243,598	224,543	232,352	202,698	210,385	**214,554**
北米	370,726	388,165	422,736	435,732	426,966	433,796	**419,860**
欧州	171,540	206,724	229,133	256,516	261,550	268,581	**269,778**
アジア・大洋州	400,988	399,198	419,520	487,110	551,865	592,442	**530,373**
カリブ・中南米・中近東・アフリカ	74,987	93,244	101,362	122,348	115,933	125,561	**126,944**
総計	1,234,498	1,330,929	1,397,294	1,534,058	1,559,012	1,630,765	**1,561,509**

地域別の活動／日本 （2019年3月31日時点）

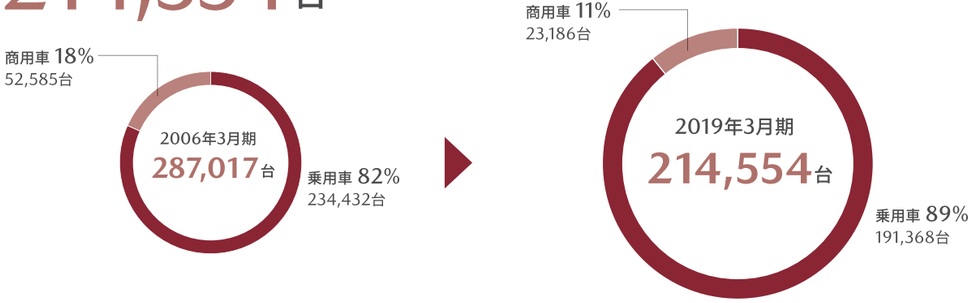
生産台数

1,010,160台



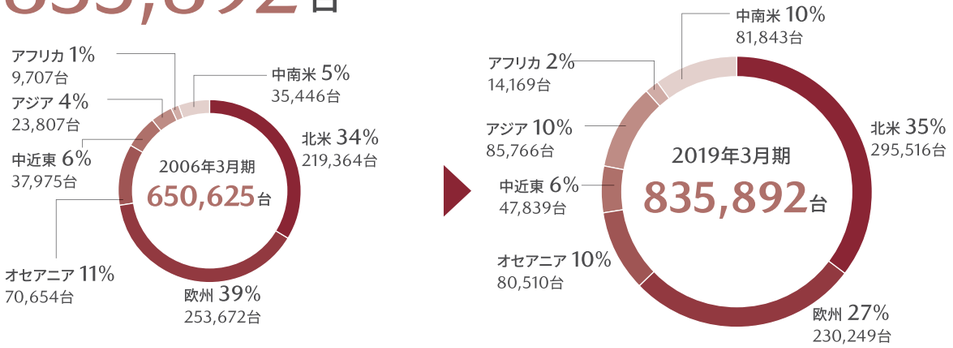
販売台数

214,554台



輸出台数

835,892台



研究開発拠点

地　域	名　称	所在地	主な研究内容
日　本	本社　研究開発部門	広島県安芸郡府中町	・商品、技術企画 ・デザイン開発 ・商品開発および育成 ・重要新技術の先行研究
	マツダR&Dセンター横浜 （略称：MRY）	神奈川県横浜市	・先行商品の企画 ・重要新技術の先行研究

総合自動車試験場

名　称	所在地	開　設	土地面積	主な研究内容
三次自動車試験場	広島県三次市	1965年6月	1,702千㎡	新商品の基本性能開発・育成の拠点として、クルマに要求される、走る・曲がる・止まるの走行テストを実施するとともに、大型の試験設備を駆使して、安全技術、環境技術の開発に取り組んでいます。
美祢自動車試験場	山口県美祢市	2006年5月	753千㎡	三次自動車試験場にないテストコースを新設し、操縦安定性の限界テスト等、車の商品性向上に寄与しています。
北海道剣淵試験場	北海道上川郡剣淵町	1990年1月	4,700千㎡	積雪路面での4WD・ABS・TCS※1・DSC※2など、安全走行システムの開発テストや、氷・雪害などに対する技術開発・商品性能向上等、寒冷地特有のテストを行っています。
北海道中札内試験場	北海道河西郡中札内村	2002年1月	260千㎡	さまざまな気象環境条件の下での、車両の性能を開発するための北海道内2番目の試験場です。主に、凍結路面でのABS・TCS・DSCなどの安全走行システムの開発テストを行っています。

※1　TCS（トラクションコントロールシステム）：路面、および走行状況に即応して駆動力を最適化する機構。
※2　DSC（ダイナミック・スタビリティ・コントロール）：4輪ABS（アンチロックブレーキシステム）とトラクションコントロールの機能を統合し、エンジン出力制御と4輪個別の制動力を最適に制御することによって、クルマの横滑り防止を図る機構である。滑りやすい路面でのコーナリングや、危険回避のための急ハンドル操作時などにも、安定した走行姿勢を保つ。

生産拠点概要

所在地	名　称	地　区		生産品目	生産能力	操業開始	土地面積
広島県安芸郡府中町	本社工場	本社		ガソリンレシプロエンジン、自動車用手動変速機	56.9万台／年	1931年 3月	551千㎡
		宇品	宇品第1（U1）工場	CX-3、CX-30※3、CX-5、CX-8、CX-9※4、ロードスター、ボンゴ、フィアット・クライスラー社向けスポーツカー		1966年11月	1,685千㎡
			宇品第2（U2）工場	CX-5		1972年12月	
				ガソリンレシプロエンジン、ディーゼルエンジン		1964年12月	
広島県三次市	三次事業所			ガソリンレシプロエンジン		1974年 5月	1,702千㎡
山口県防府市	防府工場	西浦	防府第1（H1）工場	MAZDA2、MAZDA3、CX-3	41.6万台／年	1982年 9月	792千㎡
			防府第2（H2）工場	MAZDA6、CX-5		1992年 2月	
		中関		自動車用手動変速機、自動変速機		1981年12月	537千㎡
プレス工業株式会社		尾道工場		ボンゴトラック			

（注）本社地区には、本社周辺の所在地（渕崎地区）を含む。三次事業所は自動車試験場およびエンジン工場用地の合計。
※3　2019年4月より生産
※4　輸出用のみ

地域別の活動／日本 （2019年3月31日時点）

本社工場

防府工場（西浦地区）

国内生産台数

国／地域名	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
広島	420,024	475,590	535,032	456,327	423,521	461,831	498,740
防府	484,196	491,641	511,916	443,121	404,389	405,161	347,834
総計	904,220	967,231	1,046,948	899,448	827,910	866,992	846,574

国／地域名	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
広島	509,229	556,065	507,341	588,659	605,849	623,399	**586,544**
防府	369,900	416,468	412,064	400,742	358,791	363,463	**423,616**
総計	879,129	972,533	919,405	989,401	964,640	986,862	**1,010,160**

車種別国内生産台数（乗用車）

名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
MAZDA2	73,568	68,429	154,099	178,651	162,347	144,912	165,594
MAZDA3	361,975	390,331	417,885	349,717	357,393	363,327	317,899
プレマシー	97,022	122,995	104,175	83,208	74,858	81,282	89,180
MAZDA6	148,375	126,730	123,111	116,384	61,816	72,594	48,795
MPV	51,007	27,361	20,096	7,736	7,712	6,093	6,501
CX-3	–	–	–	–	–	–	–
CX-5	–	–	–	–	–	–	46,699
CX-7	–	74,876	75,823	44,591	54,660	91,739	77,986
CX-8	–	–	–	–	–	–	–
CX-9	–	16,986	44,347	34,368	36,784	48,694	43,075
ロードスター	41,514	45,543	36,913	16,869	22,187	19,503	14,406
RX-8	33,873	18,872	10,047	7,658	3,465	2,019	1,716
ベリーサ	14,336	13,367	13,841	9,760	11,469	8,969	8,612
ビアンテ	–	–	–	15,402	10,946	11,182	10,562
その他	17,090	6,620	2,900	360	1,480	–	–
総　計	838,760	912,110	1,003,237	864,704	805,117	850,314	831,025

名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
MAZDA2	124,287	104,195	100,347	69,694	52,258	51,759	**53,902**
MAZDA3	291,181	291,414	232,567	215,140	206,253	167,587	**156,882**
プレマシー	57,585	48,459	37,211	14,424	11,104	7,734	–
MAZDA6	88,017	143,162	143,610	139,163	122,231	85,187	**93,219**
MPV	2,524	1,615	788	631	1	–	–
CX-3	–	–	16,504	142,800	116,117	127,306	**134,871**
CX-5	226,606	308,720	316,288	321,389	324,085	415,012	**435,397**
CX-7	3,081	500	–	–	–	–	–
CX-8	–	–	–	–	–	13,784	**35,426**
CX-9	40,652	31,921	37,893	22,378	54,725	54,164	**59,251**
ロードスター	15,133	10,778	10,008	44,239	63,874	50,723	**29,364**
RX-8	1,224	–	–	–	–	–	–
ベリーサ	4,710	3,548	1,248	663	–	–	–
ビアンテ	8,626	11,898	7,148	4,656	3,853	3,057	–
その他	–	–	–	–	–	–	–
総　計	863,626	956,210	903,612	975,177	954,501	976,313	**998,312**

車種別国内生産台数（商用車）

名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
ボンゴトラック	18,442	16,565	12,326	10,688	9,102	6,773	7,587
ボンゴバン	32,238	25,048	21,534	18,244	10,144	8,373	7,962
ブローニートラック	1,103	1,353	62	97	–	–	–
ブローニーバン	6,372	5,529	5,684	3,520	2,102	1,058	–
タイタン	260	220	120	–	–	–	–
タイタンダッシュ	7,045	6,406	3,985	2,195	1,445	474	–
総　計	65,460	55,121	43,711	34,744	22,793	16,678	15,549

名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
ボンゴトラック	7,942	9,169	8,522	7,423	5,621	5,954	**6,675**
ボンゴバン	7,561	7,154	7,271	6,801	4,518	4,595	**5,173**
ブローニートラック	–	–	–	–	–	–	–
ブローニーバン	–	–	–	–	–	–	–
タイタン	–	–	–	–	–	–	–
タイタンダッシュ	–	–	–	–	–	–	–
総　計	15,503	16,323	15,793	14,224	10,139	10,549	**11,848**

国内販売台数

名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
乗用車	234,432	214,366	215,479	184,215	192,183	179,508	180,040
商用車	52,585	46,646	40,261	34,347	28,617	26,377	25,498
総計	287,017	261,012	255,740	218,562	220,800	205,885	205,538

名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
乗用車	190,832	216,111	200,861	209,438	178,451	186,385	**191,368**
商用車	25,425	27,487	23,682	22,914	24,247	24,000	**23,186**
総計	216,257	243,598	224,543	232,352	202,698	210,385	**214,554**

販売会社数および店舗数

販売会社数	店舗数
218	961

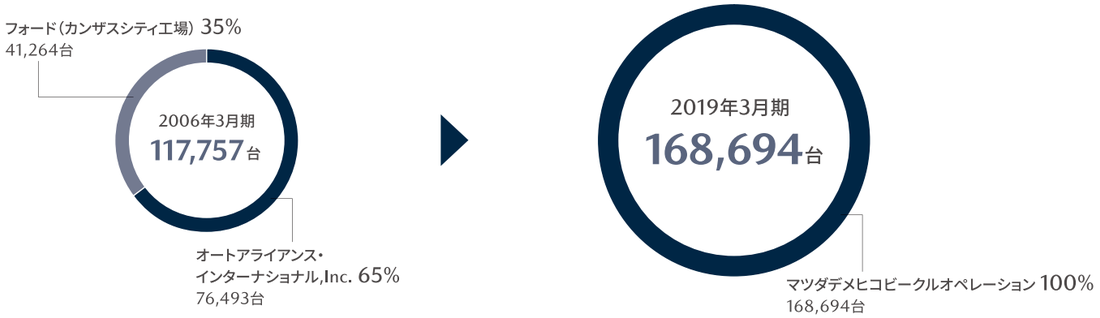
輸出台数

国／地域名	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
北　米	219,364	307,423	279,568	235,917	240,184	284,204	278,911
欧州	253,672	267,500	315,118	284,462	218,844	208,927	173,928
オセアニア	70,654	64,016	74,928	70,568	76,602	70,532	90,660
中近東	37,975	42,191	59,692	62,914	41,481	56,275	22,746
アジア	23,807	14,231	20,609	32,135	31,367	45,893	35,323
アフリカ	9,707	9,844	15,944	11,532	8,988	7,235	4,420
中南米	35,446	44,285	59,294	45,043	31,794	49,399	47,859
総　計	650,625	749,490	825,153	742,571	649,260	722,465	653,847

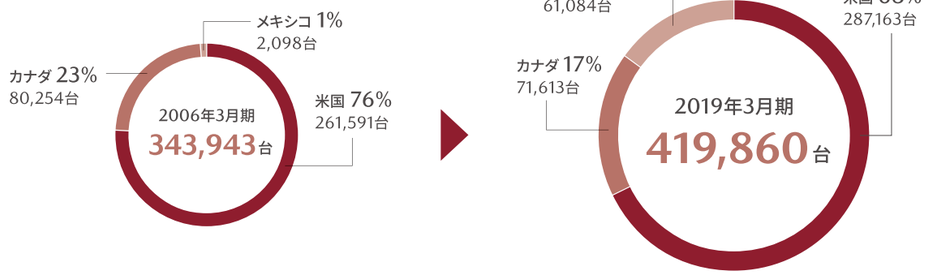
国／地域名	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
北　米	342,833	345,138	296,023	312,981	301,649	303,487	**295,516**
欧州	165,842	203,144	200,036	200,458	209,490	213,736	**230,249**
オセアニア	97,586	97,871	86,801	91,221	82,256	83,048	**80,510**
中近東	21,228	34,541	50,438	53,344	44,140	45,979	**47,839**
アジア	31,958	44,116	50,034	63,887	81,224	78,610	**85,766**
アフリカ	4,429	4,682	7,872	10,798	13,038	13,974	**14,169**
中南米	38,700	61,308	46,665	54,487	76,327	82,288	**81,843**
総　計	702,576	790,800	737,869	787,176	808,124	821,122	**835,892**

地域別の活動／北米（2019年3月31日時点）

生産台数



販売台数



統括拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
米　国	マツダノースアメリカンオペレーションズ Mazda North American Operations （略称：MNAO）※	カリフォルニア州 アーバイン	1997年10月	—	自動車・部品の卸売販売、北米市場における技術動向などの調査・研究、デザインの開発、商品適合性評価	—

※「マツダモーターオブアメリカ,Inc.」「マツダモトールデメヒコS. de R.L de C.V」.を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ（MNAO）」と呼んでいる

研究開発拠点

地　域	名　称	所在地	主な研究内容
米　国	マツダノースアメリカンオペレーションズ Mazda North American Operations （略称：MNAO）※	カリフォルニア州アーバイン	・北米市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・北米市場におけるデザインの開発 ・北米市場における商品適合性評価
		ミシガン州フラットロック	

※「マツダモーターオブアメリカ,Inc.」「マツダモトールデメヒコS. de R.L de C.V」.を総称して「マツダノースアメリカンオペレーションズ（MNAO）」と呼んでいる

マツダデメヒコビークルオペレーション（MMVO）外観

マツダノースアメリカンオペレーションズ（MNAO）外観

生産拠点

国／地域名	名　称	所在地	マツダ車生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション Mazda de Mexico Vehicle Operation（略称：MMVO）※	グアナファト州 サラマンカ	2014年1月	5,200名	MAZDA2、MAZDA3、 トヨタ社向けOEM車両	マツダ　75% 住友商事 25%

※「マツダモトールマヌファクトゥリングデメヒコS.A. de C.V.」および「マツダモトールオペラシオネスデメヒコS.A. de C.V.」の総称

MMVO沿革

2011

9月
住友商事株式会社と合弁でMMVOを設立

10月
起工式を実施

2014

1月
「MAZDA3」生産開始

2月
開所式を実施

7月
2直操業開始

10月
・「MAZDA2」生産開始
・エンジン機械加工工場の稼働を開始
・2016年3月期までに年間生産能力を25万台に増強することを発表

2015

4月
SKYACTIV-G2.0／SKYACTIV-G1.5／「SKYACTIV-D1.5」の生産開始

6月
トヨタ社向け小型車両の生産開始

2017

1月
「SKYACTIV-G2.5」の生産開始

2018

5月
「MAZDA2（セダン）」の生産開始

2019

1月
新型「MAZDA3」生産開始

生産台数

国／地域名	名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
米　国	オートアライアンス・インターナショナル,Inc.	76,493	68,581	55,784	56,080	39,152	44,875	47,101
	フォード（カンザスシティ工場）	41,264	9,482	22,628	10,846	10,129	7,725	1,523
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション	—	—	—	—	—	—	—

国／地域名	名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
米　国	オートアライアンス・インターナショナル,Inc.	19,101	—	—	—	—	—	—
	フォード（カンザスシティ工場）	—	—	—	—	—	—	—
メキシコ	マツダデメヒコビークルオペレーション	—	10,007	140,089	213,088	195,148	180,445	168,694

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）。但しメキシコは、他社ブランドの乗用車を含む

販売拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
米　国	マツダモーターオブアメリカ, Inc. Mazda Motor of America, Inc.	カリフォルニア州アーバイン	1971年 2月	861名	マツダ　100%
カナダ	マツダカナダ, Inc. Mazda Canada, Inc.	オンタリオ州リッチモンドヒル	1968年 7月	178名	マツダ　100%
メキシコ	マツダデメヒコ セールスアンドコマーシャルオペレーション Mazda de Mexico Sales & Commaercial Operation※	メキシコシティ	2004年12月	85名	マツダ　100%

※「マツダモトールデメヒコS de R.L de C.V.」および「マツダセルヴィシオスデメヒコS de R.L de C.V.」の総称

市場およびディストリビューター数

市　場	市場数	ディストリビューター数	拠点数
米　国	1	1	569
カナダ	1	1	164
メキシコ	1	1	59
合　計	3	3	792

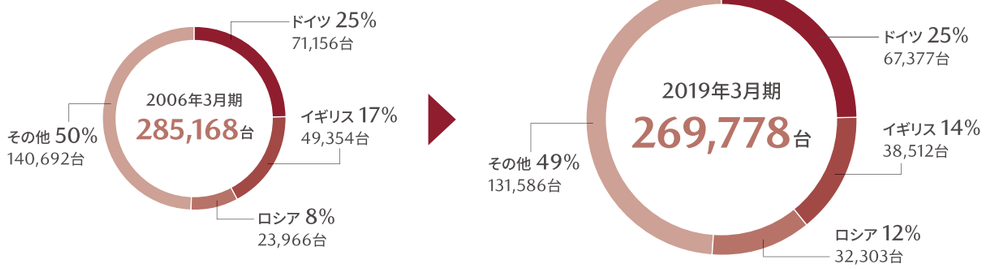
販売台数

市　場	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
米　国	261,591	280,588	294,725	240,055	209,913	238,184	267,891
カナダ	80,254	83,624	88,507	81,253	75,048	75,055	71,783
メキシコ	2,098	9,788	18,011	22,303	18,894	26,473	30,071

市　場	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
米　国	273,307	283,721	305,788	305,783	302,195	304,394	287,163
カナダ	72,136	69,685	71,582	71,032	71,323	74,658	71,613
メキシコ	25,283	34,759	45,366	58,917	53,448	54,744	61,084

地域別の活動／欧州（2019年3月31日時点）

販売台数



統括拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
ドイツ	マツダモーターヨーロッパGmbH Mazda Motor Europe GmbH（略称：MME）	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1998年3月	331名	事業所 販売	マツダモーター ロジスティクス ヨーロッパN.V. 100%
	（European R&D Centre）	ヘッセン州オーバーウァゼル	1987年12月		研究開発	
ベルギー	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. Mazda Motor Logistics Europe N.V. （Vehicles and Parts Distribution Center）	アントワープ州ウィルブローク	1998年8月	353名	事業所 物流、販売	マツダ　100%

研究開発拠点

地　域	名　称	所在地	主な研究内容
ドイツ	マツダモーターヨーロッパGmbH Mazda Motor Europe GmbH（略称：MME）	ヘッセン州 オーバーウァゼル	・欧州市場における技術／市場動向などの調査、研究 ・欧州市場におけるデザインの開発 ・欧州市場における商品適合性評価

生産拠点

国／地域名	名　称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
ロシア※1	マツダソラーズマヌファクトゥリングルース MAZDA SOLLERS Manufacturing Rus（略称：MSMR）	プリモリスキー州 ウラジオストク	2012年10月	531名	CX-5、CX-9、 MAZDA6	マツダ　50% ソラーズ　50%

※1 現地組立のみ（生産台数は公表対象外）

生産台数

国／地域名	名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
スペイン	フォード（バレンシア工場）	35,588	29,026	5,708	—	—	—	—

国／地域名	名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
スペイン	フォード（バレンシア工場）	—	—	—	—	—	—	—

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）

マツダヨーロッパGmbH（MME）外観

販売拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
ドイツ	マツダモータース（ドイツランド）GmbH Mazda Motors (Deutschland) GmbH	ノルトラインウエスト ファーレン州レバークーゼン	1972年11月	164名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
オーストリア	マツダオーストリアGmbH Mazda Austria GmbH	クラーゲンフルト	1981年 7月	118名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
ポルトガル	マツダモトールデポルトガルLda. Mazda Motor de Portugal Lda.	リスボン	1995年 2月	16名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
イタリア	マツダモーターイタリア,S.p.A. Mazda Motor Italia S.p.A.	ローマ	1999年12月	51名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
スペイン	マツダオートモービルズエスパーニャ,S.A. Mazda Automoviles Espana, S.A.	マドリッド	2000年 2月	55名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
フランス	マツダオトモビルフランスS.A.S Mazda Automobiles France S.A.S	イヴリーヌ県 サン・ジェルマン・アン・レイ	2001年 2月	53名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
スイス	マツダスイスS.A. Mazda (Suisse) S.A.	プチランシー	2001年 2月	46名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
イギリス	マツダモーターズ UK Ltd. Mazda Motors UK Ltd.	ケント州ダートフォード	2001年 5月	133名	マツダ　75%、 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 25%
デンマーク	マツダモーターデンマーク Mazda Motor Denmark	レズオウア	2003年 4月	19名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ノルウェー	マツダモーターノルウェー Mazda Motor Norge	コルボン	2004年 4月	17名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
スウェーデン	マツダモータースウェーデン Mazda Motor Sweden	クングスバッカ	2004年 4月	17名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ロシア	マツダモーターロシア, OOO Mazda Motor Rus , OOO	モスクワ	2005年12月	92名	マツダ　100%
アイルランド	マツダモーターアイルランド Mazda Motor Ireland	ダブリン	2006年 7月	11名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
チェコ	マツダモーターチェコ Mazda Motor Czech	プラハ	2006年10月	16名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
スロバキア	マツダモータースロバキア Mazda Motor Slovakia	ブラチスラバ	2006年10月	6名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ベルギー・ ルクセンブルク	マツダモーターベラックス Mazda Motor Belux	ウィルブローク	2007年 4月	39名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
ハンガリー	マツダモーターハンガリー Mazda Motor Hungary Kft	ブダペスト	2008年 4月	13名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパ N.V.　100%
クロアチア	マツダモータークロアチア Mazda Motor Croatia d.o.o.	ザグレブ	2008年 4月	12名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパ N.V.　100%
スロベニア	マツダモータースロベニア Mazda Motor Slovenija d.o.o.	リュブリャナ	2008年 4月	8名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパ N.V.　100%
ポーランド	マツダモーターポーランド Mazda Motor Poland Co., Ltd.	ワルシャワ	2008年 5月	28名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
トルコ	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. メルケジ・ベルチカ・トゥルキエ・イスタンブル・シュベシィ Mazda Motor Logistics Europe N.V. Merkezi Belcika Turkiye Istanbul Subesi	イスタンブール	2008年 6月	9名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店
オランダ	マツダモーターネーデルランド Mazda Motor Nederland	ワディンクスフェーン	2008年10月	35名	マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V. 支店

市場およびディストリビューター数

市　場	市場数	ディストリビューター数	拠点数
欧　州	42	31	2,023

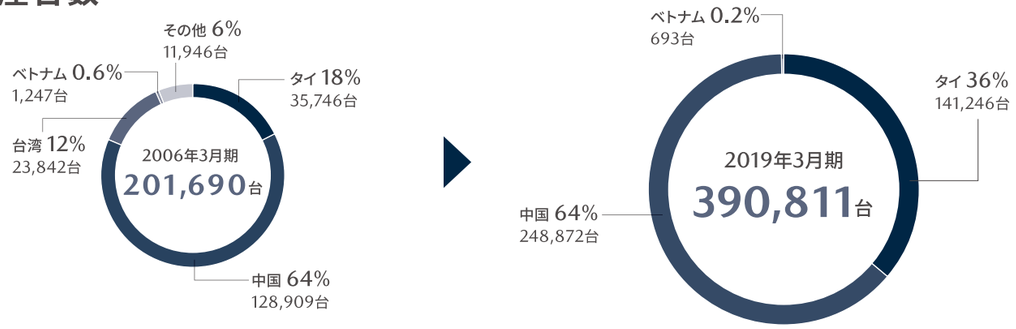
販売台数

市　場	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
ドイツ	71,156	72,326	66,160	57,289	50,492	47,978	41,114
イギリス	49,354	50,467	53,162	46,228	51,083	41,246	30,438
ロシア	23,966	35,472	57,675	69,994	22,447	29,008	43,561
その他	140,692	145,809	149,589	148,134	114,882	93,256	67,570

市　場	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
ドイツ	39,628	47,430	51,442	59,961	62,994	68,167	67,377
イギリス	25,601	34,612	40,017	47,997	44,552	38,091	38,512
ロシア	42,163	44,164	46,349	24,657	22,235	26,629	32,303
その他	64,148	80,518	91,325	123,901	131,769	135,694	131,586

地域別の活動／アジア・大洋州 （2019年3月31日時点）

生産台数



販売台数

統括拠点および会社

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	主な業務内容	資本構成
タ　イ	マツダサウスイーストアジアリミテッド Mazda South East Asia, Ltd.（略称：MSEA）	バンコク	2005年　8月	–	ASEAN市場の事業統括	マツダ　100%
中　国	マツダ（中国）企業管理有限公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd.（略称：MCO）	上海市 浦東新区	2005年　1月	106名	中国市場の事業統括	マツダ　100%
	マツダ（中国）企業管理有限公司　北京分公司 Mazda Motor (China) Co., Ltd. Beijing Branch （略称：MCO-Beijing）	北京市 朝陽区	2007年　11月		MCO支社	–
	マツダ（中国）企業管理有限公司 中国技術支援センター Mazda Motor (China) Co., Ltd. China Engineering Support Center （略称：MCO-CESC）	上海市 嘉定区	2005年　8月		MCO支社・事務所・ワークショップ 技術動向などの調査、研究、およびR&D、購買、品質、サービス領域の技術支援	–

研究開発拠点

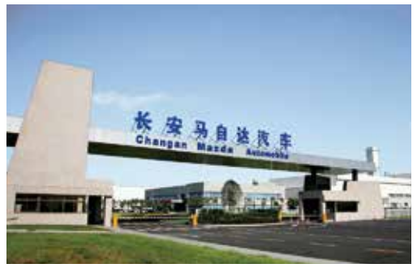
地　域	名　称	所在地	主な研究内容
中　国	マツダ（中国）企業管理有限公司 中国技術支援センター（略称：MCO-CESC）	上海市	・中国市場における技術／市場動向などの調査、研究

生産拠点

国／地域名	名　称	所在地	マツダ車 生産開始時期	従業員数	主な生産車種	資本構成
タ　イ	オートアライアンス（タイランド）Co., Ltd. Auto Alliance (Thailand) Co., Ltd.（略称：AAT）	ラヨーン県イースタン・シーボード工業団地	1998年　5月 （1995年11月設立）	6,925名	MAZDA2、MAZDA3、CX-3、BT-50	マツダ　50% フォード　50%
	マツダパワートレインマニュファクチャリング（タイランド）Co., Ltd. Mazda Powertrain Manufacturing (Thailand) Co., Ltd.（略称：MPMT）	チョンブリ県	2015年　1月	984名	自動車用トランスミッション、エンジン	マツダ 100%
中　国	一汽乗用車有限公司 FAW Car Co., Ltd.（略称：FCC）	吉林省 長春市	2003年　3月	–	MAZDA6、CX-4	現地　100%
	長安マツダ汽車有限公司 Changan Mazda Automobile Co., Ltd.（略称：CMA）	江蘇省 南京市	2007年10月	3,302名	MAZDA3、CX-5、CX-8	長安汽車 50% マツダ　50%
	長安マツダエンジン有限公司 Changan Mazda Engine Co., Ltd.（略称：CME）	江蘇省 南京市	2007年　4月 （2005年9月設立）	1,115名	自動車用エンジン	長安汽車 50% マツダ　50%
ベトナム※1	タコ マツダ オートモービル マニュファクチャリングカンパニー Thaco Mazda Automobile Manufacturing Company	クアンナム省 ヌイタン地区	2011年10月	–	MAZDA3、MAZDA6、CX-5、CX-8※3	現地　100%
マレーシア※1	マツダマレーシアSdn. Bhd. Mazda Malaysia Sdn. Bhd. （略称：MMSB）	スランゴール州 シャーアラム	2012年　9月設立※2	139名	CX-5、CX-8※4	マツダ　70% 現　地　30%

※1 現地組立のみ（生産台数は公表対象外）　※2 2018年5月新工場設立　※3 2019年6月現地組立開始　※4 2019年9月現地組立開始

オートアライアンス（タイランド）



長安マツダ汽車

AAT沿革

1995
11月
設立

1998
5月
マツダファイター（Bシリーズ）の生産開始
12月
輸出開始

2000
8月
BUユニット
10万台達成

2005
5月
BUユニット
50万台達成

2006
2月
初代
「BT-50」の生産開始

2007
7月
累計生産
100万台達成

2009
7月
乗用車工場開所式
9月
「MAZDA2」生産開始

2010
8月
ピックアップトラック工場に3億5,000万米ドルの投資することを発表

2011
2月
2代目「MAZDA3」生産開始
5月
2代目「BT-50」生産開始

2012
5月
ピックアップトラック工場の生産能力増強

2014
2月
3代目「MAZDA3」生産開始

2015
10月
「CX-3」の生産開始

FCC沿革

2003
4月
初代「MAZDA6」を生産開始

2014
4月
「MAZDA6 Atenza」生産開始

2016
3月
「CX-4」生産開始

地域別の活動／アジア・大洋州（2019年3月31日時点）

CMA沿革

2001

4月
長安汽車とフォードが「長安フォード汽車（CAF）」を設立

2005

1月
・CAFの第2工場として南京車両生産工場建設について政府承認取得。
・マツダはCAFに出資することでプロジェクトに参画することを表明

2006

2月
CAF重慶工場で「MAZDA3」の生産開始

3月
・マツダがCAFに出資し、3社による合弁会社となる
・資本比率は長安汽車（50%）、フォード（35%）、マツダ（15%）
・新会社名は、「長安フォードマツダ汽車有限公司（CFMA）」となる

2007

9月
CFMA南京工場竣工式

10月
CFMA南京工場で「MAZDA2」の生産開始

2008

2月
CFMA増資
（資本金：2億9,344万ドル→3億5,144万ドル）

2010

5月
重慶工場で生産していた「MAZDA3」を南京工場に移管

2011

8月
・CFMA南京工場生産能力増強
・2代目「MAZDA2」の生産開始

2012

11月
「長安マツダ汽車有限公司（CMA）」設立

2013

6月
「CX-5」生産開始

2014

4月
「MAZDA3 Axela」生産開始

2018

4月
「CX-8」生産開始

生産台数

国／地域名	名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
タ　イ	オートアライアンス(タイランド)	35,746	46,978	52,977	38,711	39,775	95,657	76,185
中　国	一汽乗用車有限公司（FCC）	128,909	128,555	107,956	105,998	198,725	240,301	196,885
	長安マツダ汽車有限公司（CMA）							
台　湾	福特六和汽車股份公司	23,842	15,387	12,483	4,937	12,485	3,521	3,571
ベトナム	タコ マツダ オートモービル マニュファクチャリング カンパニー	–	–	–	–	–	–	288
その他		11,946	10,810	285	200	140	–	–

国／地域名	名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
タ　イ	オートアライアンス(タイランド)	120,746	77,351	84,540	126,378	134,770	133,188	141,246
中　国	一汽乗用車有限公司（FCC）	157,934	190,555	215,262	234,821	292,181	316,973	248,872
	長安マツダ汽車有限公司（CMA）							
台　湾	福特六和汽車股份公司	4,348	6,089	5,454	2,234	238	–	–
ベトナム	タコ マツダ オートモービル マニュファクチャリング カンパニー	173	720	800	2,676	4,831	2,064	693
その他		–	–	–	–	–	–	–

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）

販売拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
タ　イ	マツダセールス（タイランド）Co., Ltd. Mazda Sales (Thailand) Co., Ltd.	バンコク	1990年 6月	205名	マツダ 96.1% KKS 3.9%
中　国	一汽マツダ汽車販売有限公司 FAW Mazda Motor Sales Co., Ltd.	吉林省 長春市	2005年 3月	289名	一汽乗用車 56% マツダ 40% 第一汽車集団 4%
	長安マツダ汽車販売分公司 Changan Mazda Automobile Corporation, Ltd.	江蘇省 南京市	2007年 4月	258名	長安マツダ汽車有限公司の販売部門
台　湾	台湾マツダ汽車股份有限公司 Mazda Motor Taiwan Co., Ltd.	台北市	2013年12月	53名	マツダ 100%
オーストラリア	マツダオーストラリアPty Ltd. Mazda Australia Pty Ltd.	ビクトリア州 マウントウエイバリー	1967年 4月	321名	マツダ 100%
ニュージーランド	マツダモータースオブニュージーランドLtd. Mazda Motors of New Zealand Ltd.	オークランド市 マウントウエリントン	1972年 6月	46名	マツダ 100%

市場およびディストリビューター数

地　域	市場数	ディストリビューター数	拠点数
アジア	16	16	326
オセアニア	14	14	192
中　国	1	2	493
台　湾	1	1	39

販売台数

市　場	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
中国	130,029	129,128	101,005	134,564	196,166	235,800	222,635
台湾	29,179	20,386	14,970	9,151	13,192	16,207	15,477
その他アジア	29,251	27,269	25,400	19,929	27,878	56,183	67,040
オセアニア	72,975	75,052	87,799	85,386	86,699	93,797	98,849

市　場	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
中国	174,687	196,483	214,628	235,024	291,688	322,420	247,339
台湾	12,342	14,524	15,389	21,579	22,997	23,046	21,710
その他アジア	102,677	75,583	77,853	102,319	105,933	117,436	137,572
オセアニア	111,282	112,608	111,650	128,188	131,247	129,540	123,752

2019年3月期 販売台数

アジア

中　国	247,339台
台　湾	21,710台
タ　イ	70,461台
その他アジア	67,111台

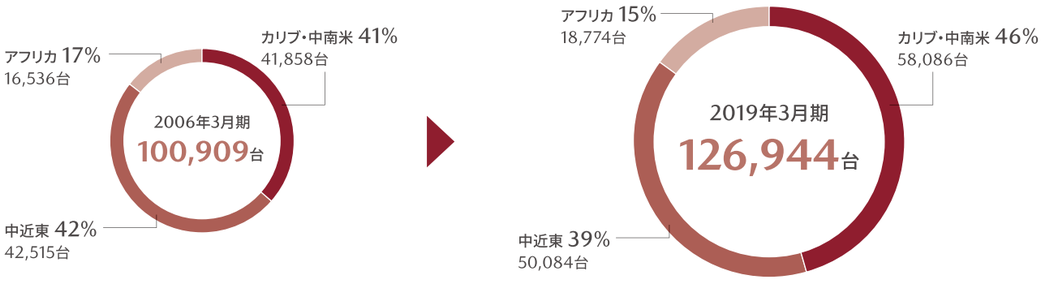
大洋州

オーストラリア	109,874台
その他	13,878台

地域別の活動／カリブ・中南米・中近東・アフリカ（2019年3月31日時点）

販売台数

126,944台



生産台数

国／地域名	名　称	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
南アフリカ	フォードモーターカンパニーオブサザンアフリカPty,Ltd.	5,127	6,457	6,214	4,135	3,917	3,690	2,951
ジンバブエ	ウィローベールマツダモーターインダストリーズ	1,042	1,182	1,517	1,468	684	337	813
コロンビア	コンパニア　コロンビアナ　アウトモトリスS.A.(CCA)	2,763	4,109	6,173	3,316	3,727	5,018	3,223
エクアドル	マレサ	4,335	5,976	6,448	9,016	6,860	9,378	6,108
その他		12,054	11,396	–	–	–	–	–

国／地域名	名　称	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
南アフリカ	フォードモーターカンパニーオブサザンアフリカPty,Ltd.	3,098	3,154	2,283	932	–	–	–
ジンバブエ	ウィローベールマツダモーターインダストリーズ	246	1	–	–	–	–	–
コロンビア	コンパニア　コロンビアナ　アウトモトリスS.A.(CCA)	3,905	2,044	351	–	–	–	–
エクアドル	マレサ	11,334	6,842	6,879	1,684	–	–	–
その他		–	–	–	–	–	–	–

※海外生産はマツダブランド車のラインオフベース（CKDを除く）

マツダサザンアフリカ本社

コロンビアの首都ボゴタ市内の新世代店舗

販売拠点

国／地域名	名　称	所在地	設立時期	従業員数	資本構成
コロンビア	マツダデコロンビアS.A.S Mazda de Colombia S.A.S（略称：MCOL）	ボゴタ	2014年 5月	61名	マツダ　100%
南アフリカ	マツダサザンアフリカ(Pty)Ltd Mazda Southern Africa (Pty) Ltd（略称：MSA）	ミッドランド	2013年 7月	42名	マツダ　70% 伊藤忠商事　30%

市場およびディストリビューター数

地　域	市場数	ディストリビューター数	拠点数
カリブ・中南米※	36	35	215
中近東	13	13	81
アフリカ	39	25	128

※ メキシコを除く。

販売台数

市　場	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期
カリブ・中南米	41,858	49,557	61,731	47,802	33,752	43,464	38,401
中近東	42,515	41,895	64,163	56,965	55,659	54,078	33,410
アフリカ	16,536	19,328	23,929	22,969	16,508	15,582	12,595

市　場	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期
カリブ・中南米	35,311	42,342	44,922	48,671	49,691	54,232	58,086
中近東	29,852	39,408	44,690	54,742	48,635	53,087	50,084
アフリカ	9,824	11,494	11,750	18,935	17,607	18,242	18,774

2019年3月期 販売台数

カリブ・中南米

チリ	19,648台
コロンビア	21,571台
その他	16,867台

中近東

サウジアラビア	25,362台
イスラエル	12,320台
その他	12,402台

アフリカ

南アフリカ	14,418台
その他	4,356台

社歴

経営

1920年　1月 東洋コルク工業株式会社として創立、海塚新八社長就任
1921年　3月 松田重次郎社長就任
1927年　9月 東洋工業株式会社に改称
1929年　4月 工作機械の製作開始
1931年　10月 3輪トラック「マツダ号」を生産開始
1932年　ー 大連、奉天、青島へ3輪トラック初輸出
1935年　10月 さく岩機の生産開始
1945年　8月 建物の一部を広島県に貸与、県庁の全機構が当社に移される（～'46年7月）
1949年　8月 3輪トラック輸出再開（インド）
1951年　12月 松田恒次社長就任
1961年　7月 独NSU社、バンケル社とロータリーエンジンに関し技術提携
1962年　1月 韓国で現地組立開始
1963年　3月 自動車生産累計100万台達成
　　6月 南アフリカで現地組立開始
1965年　1月 英国パーキンスサービス社とディーゼルエンジンに関し技術提携
　　5月 三次自動車試験場完成
1966年　11月 宇品乗用車専用工場完成
1967年　3月 欧州向け本格輸出開始
　　4月 オーストラリアに販売会社を設立
1968年　7月 カナダに販売会社を設立
1969年　4月 ロータリーエンジン車本格輸出開始

松田重次郎社長

三輪トラック

1970年　4月 対米輸出開始
　　11月 松田耕平社長就任
1971年　2月 マツダモーターオブアメリカ（MMA）設立
1972年　10月 マツダトレーニングセンター鯛尾完成
　　12月 自動車生産累計500万台達成
1974年　4月 三次ディーゼルエンジン工場完成
1975年　1月「コーポレートマーク」制定
　　タイで現地組立を開始
1977年　12月 山崎芳樹社長就任
1978年　11月 ロータリーエンジン車生産累計100万台達成
1979年　6月 自動車生産累計1,000万台達成
　　11月 フォードとの資本提携を開始
1981年　12月 防府中関変速機工場稼働開始
　　「オートラマ」を設立（'82年10月より商品供給開始）
1982年　9月 防府西浦工場本格操業開始
1983年　4月 コロンビアで現地生産開始（CCA設立）
1984年　5月 マツダ株式会社へ社名変更
　　10月 マツダ財団設立
　　11月 山本健一社長就任
1985年　1月 米国生産会社（MMUCのちのAAI）を設立
　　3月 マツダ北京事務所設立
1986年　4月 ロータリーエンジン車生産累計150万台達成
　　12月 マツダR&Dセンター、アナーバー（米国）完成
1987年　4月 生産累計2,000万台を達成
　　6月 技術研究所横浜研究所開設
　　12月 古田徳昌社長就任
　　スズキ（株）（鈴木自動車工業）との軽自動車生産協力を発表

1988年　5月 マツダR&Dセンター、アーバイン（米国）完成
1989年　4月「ユーノス」「オートザム」設立
　　6月 東京支社を東京本社に呼称変更
1990年　5月 マツダ欧州R&D事務所（MRE）完成
　　12月 生産累計2,500万台達成
1991年　6月 第59回ル・マン24時間レースで
マツダ787Bが日本車史上初の総合優勝

第59回ル・マン24時間耐久レースでのマツダ787B

　　11月「マツダオート」チャネルを「アンフィニ」に変更
　　12月 和田淑弘社長就任
1992年　2月 防府第2工場が本格操業を開始
　　4月「マツダ地球環境憲章」を制定
　　9月 中国で現地生産を開始
1993年　3月 環境に関する行動推進計画を策定
　　5月 米国AAIでの生産累計100万台達成

1994年　11月 国内自動車メーカーで初めて「ISO9002」規格の認証を取得
1995年　4月 生産累計3,000万台達成
　　11月 タイでAAT設立（工場着工は翌年2月）
1996年　4月「アンフィニ」店を「マツダアンフィニ」店に呼称変更
　　「ユーノス」店を「マツダアンフィニ」店または「マツダ店」に統合
　　6月 開発からアフターサービスまでカバーする「ISO9001」を国内自動車メーカーで初めて取得
　　ヘンリーD. G. ウォレス社長就任
1997年　6月「新ブランドシンボル」を制定
　　10月 北米事業を統合（MNAOスタート）
　　11月 ジェームズE. ミラー社長就任
　　12月 倫理委員会を設置
1998年　1月 社章を変更
　　3月 欧州事業を統合（現MMEスタート）
　　4月 プロダクトフィロソフィーを制定
　　5月 AATで生産開始
　　8月 マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.（MLE）を設立
　　9月 防府工場・西浦工場がISO14001を取得
　　12月 AATより輸出開始
1999年　6月 AAIが生産累計200万台を達成
　　三菱自動車と小型商用車のOEM供給で合意
　　9月 防府工場が環境ISO認証の取得を完了
　　12月 マーク・フィールズ社長就任

オートアライアンス・タイランド社（AAT）

マツダモーターロジスティクスヨーロッパN.V.（MLE）

商品

1931年　10月 マツダ初の自動車、3輪トラック「マツダ号」新発売
1950年　6月 マツダ初の小型4輪トラック「CA車」新発売
1958年　4月 小型4輪トラック「ロンパー」新発売
（後に「Dシリーズ（クラフト）」「Eシリーズ（タイタン）」へ派生）
1960年　5月 軽乗用車「R360クーペ」新発売
1961年　2月 軽4輪トラック「B360」新発売（後に「ポーター」へ改称）
　　8月 小型4輪トラック「B1500」新発売（後に「プロシード」へ改称）
1962年　2月 軽乗用車「キャロル」新発売
1963年　10月「ファミリア800バン」新発売
1964年　10月「ファミリアセダン」新発売
1965年　5月 ライトバス新発売（後に「パークウェイ」へと改称）
1966年　5月「ボンゴ」新発売
　　8月「ルーチェ」新発売
1967年　5月 初のロータリーエンジン搭載車
「コスモスポーツ」新発売
1969年　4月 軽4輪トラック「ポーターキャブ」新発売
　　10月 中型トラック「ポクサー」新発売

「ロンパー」

「キャロル」

1970年　5月「カペラ」新発売
1971年　9月「グランドファミリア」新発売
「サバンナ」新発売
1972年　6月 軽乗用車「シャンテ」新発売
1975年　3月「ロードペーサー」新発売
　　10月「コスモ」新発売
1978年　3月「サバンナRX-7」新発売
1980年　12月 5代目「ファミリア」が
「1980-1981日本カー・オブ・ザ・イヤー」受賞
1982年　12月 4代目「カペラ（テルスター）」が
「1982-1983日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
1983年　6月「ボンゴブローニイ」新発売
1986年　2月「フェスティバ」新発売
1987年　1月「エチュード」新発売

「コスモスポーツ」

5代目「ファミリア」

1988年　10月「ペルソナ」新発売
1989年　6月「スクラム」新発売
（スズキ（株）からのOEM）
　　9月「ユーノスロードスター」新発売
　　11月「ユーノス100」「ユーノス300」新発売
1990年　1月「MPV」新発売
　　4月「ユーノスコスモ」新発売
　　9月「レビュー」新発売
1991年　5月「センティア」新発売
　　6月「ユーノスプレッソ」
「AZ-3」新発売
　　10月 水素RE自動車「HR-X」を
東京モーターショーで発表
「クロノス」新発売
　　11月「アンフィニMS-6」「アンフィニMS-9」新発売
1992年　1月「MX-6」新発売
　　2月「ユーノス500」新発売
　　3月「アンフィニMS-8」新発売
　　5月「クレフ」新発売
　　10月 軽自動車「AZ-1」新発売
　　11月 天然ガスエンジン搭載乗用車を開発
1993年　1月「ユーノスロードスター」ベースの
高性能電気自動車を開発
　　4月 ミラーサイクルエンジンの開発に成功
　　9月「ランティス」新発売
　　10月「ユーノス800」新発売

「ユーノスロードスター」

初代「MPV」

「ユーノスコスモ」

1994年　2月「タイタン」天然ガストラックを開発
　　9月 軽自動車「AZ-ワゴン」新発売（スズキ（株）からのOEM）
商用車「ファミリアバン」、日産自動車（株）からの
OEM供給に（5代目）
1995年　2月「プロシードレバンテ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
　　6月「ボンゴフレンディ」新発売
1996年　8月「デミオ」新発売
　　10月 初代「デミオ」が「RJCニュー・カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
1997年　12月 燃料電池電気自動車「デミオFCEV」を開発
1998年　5月 小型キャブオーバーバンの電気自動車「ボンゴEV」を発売
　　10月 軽自動車「AZ-オフロード」新発売（スズキ（株）からのOEM）
軽自動車「キャロル」、スズキ（株）からのOEM供給に（4代目）
1999年　3月 軽自動車「ラピュタ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
　　4月 アルデヒド除去剤「ライフ・ブレス」を開発
「プレマシー」新発売

初代「デミオ」

「ボンゴフレンディ」

初代「プレマシー」

社歴

2000

経営

2000年
- **4月** 通商産業省の支援による燃料電池電気自動車の実車走行試験・共同プロジェクトに参加
- **6月** 全国内生産拠点でISO14001認証を取得
- **7月** メディアウェブサイトを開設
  マツダ、乗用車共通の「ブランドDNA」を策定
- **8月** タイ製ピックアップトラックが生産累計10万台を達成
- **11月** 中期経営計画「ミレニアムプラン」を発表

2001年
- **1月** 低コストの塗膜除去技術を活用した回収バンパー再生材の用途を拡大し、新車のバンパー補強用部品に採用
- **2月** 日本初、インターネットを使った受注生産（BTO）を開始
- **9月** 宇品第2工場を閉鎖（～'04年5月）

2002年
- **1月** 防府工場が累計生産台数500万台を達成
  北海道 中札内試験場を竣工
  MZRエンジンの生産を国内で開始
- **3月** 事業所内保育施設「わくわくキッズ園」を設置

わくわくキッズ園

- **4月** 新ブランドメッセージ「Zoom-Zoom」を展開
- **5月** 執行役員制度を導入するなどコーポレートガバナンスを強化
- **6月** ルイス・ブース社長兼CEO就任
- **8月** マツダレンタリースのリースカー事業を住銀オートリースに売却
- **9月** マツダアステック（さく岩機製造）をサンドビックグループに営業譲渡
- **12月** 経営諮問委員会を設置し、コーポレートガバナンスを強化

商品

2000年
- **7月** 「ロードスター」が“世界で最も多く生産された2人乗り小型オープンスポーツカー”としてギネスに認定（565,779台）
- **10月** 「タイタンダッシュ」新発売
- **11月** 「トリビュート」新発売

2001年
- **2月** 燃料電池自動車「プレマシーFC-EV」を開発、国内初の公道走行試験を開始
- **12月** 新世代モジュール基材用の高強度プラスチック技術を開発

2002年
- **2月** 軽自動車「スピアーノ」新発売（スズキ（株）からのOEM）
- **5月** 次世代商品第一弾として、「アテンザ」新発売

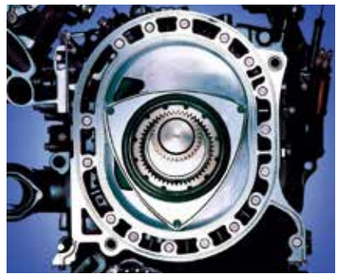
初代「アテンザ」

- **7月** 機械加工時の切削液の使用量を大幅削減する「セミドライ加工」で環境への負荷を軽減
  世界初の環境にやさしい「スリー・ウエット・オン塗装技術」を開発し、揮発性有機化合物と二酸化炭素（CO_2）を削減
- **11月** 初代「アテンザ」が「2003RJCカー・オブ・ザ・イヤーを受賞」
- **12月** 先進安全自動車（ASV）の公道走行試験を開始

2003

経営

2003年
- **1月** 新世代ロータリーエンジン「RENESIS」の生産を開始
  中国一汽乗用車で「Mazda6」の生産開始
  フォード バレンシア工場（欧州）で「Mazda2」の生産を開始（～'07年6月）



RENESIS

- **7月** いすゞ（株）と小型トラックのOEM供給で合意
- **8月** 井巻久一社長兼CEO就任

商品

2003年
- **2月** 摩擦熱を利用したアルミ材接合技術を世世界で初めて開発
- **4月** 優れた歩行者保護性能を持つ衝撃吸収構造アルミボンネットを開発
- **5月** PM排出量を現行比で75%以上削減するディーゼルエンジン用の排出ガス低減技術を開発
- **6月** 「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2003」を受賞
- **9月** 塗膜除去率を99.9%まで高めるバンパーリサイクルのための新技術を開発し、「バンパーtoバンパー」リサイクルを実現
- **10月** 「アクセラ」新発売

初代「アクセラ」

- **11月** 「RENESIS」が「RJCテクノロジー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
  「RX-8」が「2004RJCカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- **12月** 「Mazda6」が中国の「2004年カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2004

経営

2004年
- **2月** 販売系列全店で軽自動車の扱いを開始、登録車も併売を拡大
- **4月** 国内生産体制再編のため、本社第1工場での生産を終了
- **5月** 国内生産体制再編のため、宇品第2工場を再稼働
- **9月** マツダレンタカーの全株式を譲渡
- **12月** 宇品第1工場で火災発生

2005年
- **2月** 本社敷地内に水素ステーションを開設
  創業85周年を機に「マツダミュージアム」全面リニューアル

マツダミュージアム

- **4月** 広島大学大学院工学研究科と自動車の先進技術の研究協力で契約
  新生宇品第1工場塗装ライン稼働
- **8月** 中国技術支援センターを開設

商品

2004年
- **5月** 「RENESIS」が「インターナショナル・エンジン・オブ・ザ・イヤー2.5～3.0リットル」部門賞を2年連続で受賞
- **6月** 「ベリーサ」新発売

「ベリーサ」

- **10月** RX-8水素ロータリーエンジン車の公道走行を開始
- **11月** マツダのスリー・ウエット・オン塗装技術が地球温暖化防止活動環境大臣表彰を受賞

2005年
- **3月** 「バンパーtoバンパー」リサイクル技術をRX-8から新車のバンパーに導入開始
- **4月** 新生宇品第1工場塗装ラインにスリー・ウエット・オン塗装方式を採用
- **6月** 世界初、摩擦熱を利用した鉄とアルミ材の点接合技術を開発
- **11月** 3代目「ロードスター」が「2005-2006日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

3代目「ロードスター」

2006

経営

2006年
- **1月** 三菱商事とエネルギー供給会社「MCMエネルギーサービス（株）」を設立
- **2月** 「Mazda3」を長安フォード重慶工場で生産開始
- **4月** マツダオートザム　販売累計台数100万台達成
- **5月** 美祢自動車試験場の開所式を実施

美祢自動車試験場開所式

- **7月** 自動車運搬船「クーガーエース」事故発生

2007年
- **3月** 新中期計画「マツダ アドバンスメント プラン」を策定
  技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言」を策定
- **4月** 長安フォードマツダエンジン工場（南京）でのエンジン量産開始
- **5月** 厚生労働省の次世代認定マーク「くるみん」を取得
  ロータリーエンジン車発売40周年を迎える
- **7月** 国内生産累計4,000万台を達成
  AATが生産累計100万台を達成
  業界初となる、V型6気筒エンジンと直列4気筒エンジンの混流生産を実現
  専用コンテナでの鉄道往復輸送によるグリーン物流システムを構築
- **10月** 「Mazda2」を長安フォードマツダ南京工場で生産開始

商品

2006年
- **2月** 水素ロータリーエンジン車「RX-8ハイドロジェンRE」の限定リース販売を開始

「RX-8」ハイドロジェン RE

- **5月** 産学官の連携で、自動車内装部品用に高強度、高耐熱性を持つバイオプラスチックを開発
- **11月** 「MPV」2.3L　DISIターボエンジン車がエコプロダクツ大賞推進協議会会長賞（優秀賞）を受賞
- **12月** 「CX-7」新発売

「CX-7」

2007年
- **9月** 植物由来100%の繊維からなる自動車内装用バイオファブリックを開発
- **10月** 世界初となるシングルナノテクノロジーを活用した触媒材料構造を持つ自動車用触媒を開発
- **11月** 3代目「デミオ」が「2008年次RJCカーオブザイヤー」を受賞
  ノルウェー国家プロジェクトHyNor（ハイノール）に参画し、2008年夏から水素ロータリーエンジン車をノルウェーに納入

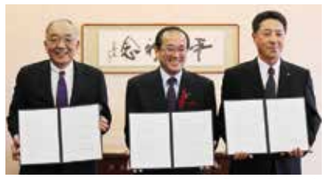
社歴

経営

2008

2008年
- **2月** 日本初の「人権擁護功労賞」受賞
- **3月** 自動車販売金融事業における戦略的提携を実施
- **4月** 国内販売会社に環境マネジメントシステム「エコアクション21」を導入
- **6月** ブランドを視覚的に表現するグローバル・ビジュアル・アイデンティティを導入
  CO_2排出量削減に向けた取り組みを発表
  ー2015年までにグローバルでマツダ車の燃費を30%向上ー
- **7月** 全国規模の部品販売会社、マツダパーツ株式会社を設立
- **9月** シベリア鉄道を利用した車両輸送を開始
- **10月** マツダミュージアム来場者100万人達成
- **11月** 山内孝社長兼CEO就任
- **12月** 新広島市民球場の命名権契約を締結し、「Mazda Zoom-Zoom スタジアム広島」と命名

マツダミュージアム来場者100万人達成記念セレモニー



広島市民球場命名権契約締結式

2009

2009年
- **3月** 「マツダ(中国)トレーニングセンター」を北京、上海、深センに開設
- **4月** 一汽マツダ汽車販売有限公司に増資し、出資比率を25%から40%に引き上げ、販売網を強化
- **7月** AAT新乗用車工場完成

2010

2010年
- **3月** トヨタとハイブリッドシステムの技術ライセンス供与に合意
- **4月** 広島大学とマツダ財団の連携事業「科学わくわくプロジェクト」が、「平成22年度科学技術分野の文部科学大臣表彰 科学技術賞」を受賞
- **9月** 「ひろしまの森林(もり)づくりフォーラム」に加入し、「マツダの森」を通じた地域の森林保全活動に協力開始

2011年
- **1月** 日産とマツダ、新たなOEM供給契約を締結
- **2月** 広島大学と包括的連携に関する協定を締結
- **6月** 住友商事とメキシコでの生産事業およびブラジルでの販売事業で合弁事業に合意
  社外取締役制度を導入
- **10月** 住友商事とメキシコ新工場の起工式を実施
  ベトナム「ヴィナマツダ社」の新工場で「Mazda2」の現地組立を開始

メキシコ工場「MMVO」

2012

2012年
- **1月** マツダ病院の新棟(入院棟)を竣工
- **5月** フィアット社とオープン2 シータースポーツカーの開発・生産に向けた協議を開始
- **7月** 「SKYACTIV-G」、「SKYACTIV-D」エンジンの年間生産能力を80万基に増強
- **9月** ロシアのソラーズ社と、現地合弁生産会社「マツダソラーズ」を設立
  マレーシアのベルマツ社との合弁会社「マツダ・マレーシア」を設立
- **11月** トヨタと、マツダのメキシコ新工場におけるトヨタ車の生産について合意

2013年
- **1月** マツダとフィアット、アルファロメオ車の生産に向けた事業契約を締結
- **4月** 山内孝会長 社長兼CEO(当時)が、メキシコの勲章「アギラ・アステカ勲章」を受章
- **6月** 小飼雅道社長兼CEO就任
- **7月** タイの新トランスミッション工場の起工式を実施
- **8月** メキシコ新工場にエンジン機械加工工場の新設を発表
  国内の「SKYACTIV技術」エンジンの年間生産能力を100万基に増強を発表
  防府工場の累計生産台数1,000万台を達成
  南アフリカに販売統括会社を設立
  広島市民球場の命名権を取得、球場名「Mazda Zoom-Zoomスタジアム広島」を継続

商品

2008

2008年
- **1月** 広島地区の産学官共同でITS公道実証実験を実施
  国内初のリアビークルモニタリングシステムを実用化
- **3月** 3代目「Mazda2」が「2008世界カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
  先進安全自動車「マツダASV-4」の公道走行試験を開始
- **6月** 食糧と競合しないバイオプラスチックの技術開発に、産学官連携で2013年までの実用化を目指して着手
  「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」の国土交通大臣認定を取得

「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」(広島県、広島市納入車)

- **7月** 「ビアンテ」新発売
- **9月** 直噴エンジンの技術を活用した独自のアイドリングストップ機構「アイ・ストップ(i-stop)」を開発
  樹脂の使用量を30%削減できるプラスチック成形技術を開発

初代「ビアンテ」

2009

2009年
- **1月** 貴金属の使用量を約70%削減できるシングルナノ触媒を世界で初めて実用化
- **2月** マツダ、ITS合同実証実験「ITS-Safety 2010」に参加
- **3月** 世界初の廃車バンパーリサイクル自動化技術を開発
  日本メーカー初の乗用車用尿素SCRシステムを開発
  世界初のハイブリッドシステム搭載水素ロータリーエンジン車「マツダ プレマシー ハイドロジェンREハイブリッド」のリース販売を開始
- **6月** 世界で最も環境負荷の少ない新水性塗装技術「アクアテック塗装」を開発、宇品第一工場への導入を開始
- **11月** 「i-stop」が「2010年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞
  「i-stop」を搭載した「アクセラ」と「ビアンテ」が第6回エコプロダクツ大賞を受賞
  マツダ、「つくば環境スタイル実証プロジェクト」に参画し、電気自動車のベース車両として「マツダ デミオ」を提供

2代目「マツダ アクセラ」スポーツ

2010

2010年
- **9月** 「動き」を表現した新デザインテーマ“魂動(こどう)ーSoul of Motion”を発表

マツダ 靭(SHINARI)

- **10月** 次世代技術「SKYACTIV」を発表

2011年
- **2月** 「ロードスター」が累計生産90万台を達成、ギネス記録更新を申請
- **5月** 「アクセラ」が世界累計生産300万台を達成
- **6月** 高効率直噴ガソリンエンジン「SKYACTIV-G 1.3」を搭載した「デミオ」を発売
- **9月** SKYACTIV技術搭載第2弾となる「アクセラ」を発売
- **11月** 「RX-8」の最後の特別仕様車「SPIRIT R」を発売
  新型エンジン「SKYACTIV-G 1.3」が「2012年次RJCテクノロジーオブザイヤー」を受賞
  乗用車用として世界で初めてキャパシターを採用した減速エネルギー回生システム「i-ELOOP」を開発

2012

2012年
- **2月** 「SKYACTIV技術」を全面採用し、先進安全技術「スマート・シティ・ブレーキ・サポート」を搭載した、新型クロスオーバーSUV「マツダ CX-5」を新発売

新型「CX-5」

- **6月** 軽自動車「マツダ フレアワゴン」を新発売(スズキ(株)からのOEM)
- **10月** 「デミオEV」のリース販売を開始
- **11月** 「マツダ CX-5 SKYACTIV-D2.2」が、「2012-2013日本自動車殿堂カーテクノロジーオブザイヤー」を受賞
  先進安全技術「i-ACTIVSENSE(アイ アクティブセンス)」を搭載した、3代目「アテンザ」を発売
  「CX-5」が「2012-2013日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

2013年
- **1月** 「プレマシー」をマイナーチェンジ
- **5月** 「ビアンテ」をマイナーチェンジ
- **9月** 先進安全自動車「アテンザ ASV-5」の公道実証実験を開始
- **11月** 3代目「アクセラ」を発売
  3代目「アテンザ」が「2013-2014日本カー・オブ・ザ・イヤー エモーショナル部門賞」を受賞
  3代目「アテンザ」が「RJCカーオブザイヤー」を受賞

社歴

経営

2014

2014年
- **1月** メキシコ新工場で量産開始
- **2月** メキシコ新工場の開所式を実施
- **3月** タイで新型「Mazda3」の生産を開始
- **4月** 中国で新型「Mazda6」と新型「Mazda3」の生産を開始
- **5月** マレーシアの車両組立工場（マツダ車専用）が完成
  コロンビアの新販売統括会社が営業開始

マレーシア組立工場オープニングセレモニーの様子

- **6月** 「アクセラ教習車」の累計生産台数が1万台を達成
- **7月** 台湾の新販売統括会社が営業開始
  新型「デミオ」の生産を防府工場で開始
  国内市場での新コンセプトの販売店「新世代店舗」を公表
  防府工場（中関）の「SKYACTIV技術」トランスミッションの生産能力を増強
- **8月** 「MAZDA TECHNOLOGY FOR KIDS」、第8回キッズデザイン賞「内閣総理大臣賞」受賞
- **9月** タイで新型「Mazda2」を生産開始
  本社ロビーをリニューアル
- **10月** メキシコで新型「Mazda2」を生産開始
  ミャンマー市場に再参入しASEAN加盟国のすべてでマツダ車を販売

2015

2015年
- **1月** タイのトランスミッション工場で量産開始
- **5月** トヨタと業務提携に向けて基本合意
  「ひろしま自動車産学官連携推進会議」の設置を発表
- **7月** タイで「BT-50」を生産開始

「BT-50」

- **9月** 三次自動車試験場が開業50周年
- **11月** 「アクアテック塗装」が第6回ものづくり日本大賞「内閣総理大臣賞」を受賞
- **12月** 米国環境保護庁（EPA）燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で3年連続総合1位獲得

2016

2016年
- **1月** 「マツダブランドスペース大阪」がオープン

マツダブランドスペース大阪

- **2月** ブランド価値のさらなる向上に向け国内販売体制を強化
- **4月** 「アクアテック塗装」のグローバル展開を開始
- **5月** 「第8回 日本マーケティング大賞」を受賞
- **6月** にしき堂とのコラボレーション商品「マツダ ロードスター生産100万台記念パッケージもみじ詰合せ」を発売
  兵庫県立大学との共同研究を開始
- **7月** マツダといすゞ、いすゞ製次世代ピックアップトラックのOEM供給で合意
- **8月** タイのパワートレイン工場のエンジン生産能力増強を発表
- **9月** ロシアのソラーズ社との合弁生産会社がエンジン工場設立についてロシア政府と特別投資契約を締結
- **11月** 「マツダ自動車保険 スカイプラス」を導入
  米国環境保護庁（EPA）燃費トレンドレポートの「企業平均燃費値」で4年連続総合1位獲得
- **12月** 防府工場で「CX-3」の生産を開始

「ロードスター」累計生産100万台達成記念車

商品

2014

2014年
- **2月** 「アクセラ」が世界累計生産400万台を達成
- **4月** 「SKYACTIV技術」搭載車のグローバル生産台数が100万台を突破
- **9月** 新型「ロードスター」を世界初公開
  新型「デミオ」を発表

マツダ新型「ロードスター」の初公開イベント（THANKS DAY in JAPANの様子）

- **10月** 新型「デミオ」が「2014-2015日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- **11月** 新型「デミオ」が2014年度「グッドデザイン金賞」を受賞
  小排気量クリーンディーゼルエンジン「SKYACTIV-D 1.5」が、「第11回エコプロダクツ大賞」を受賞
- **12月** 「アテンザ」が世界累計生産300万台を達成

「デミオ」

2015

2015年
- **1月** 「アテンザ」と「CX-5」の大幅改良モデルを発表
- **2月** 新型「CX-3」を発表
- **3月** マツダ3車種が独「レッド・ドット・プロダクトデザイン2015」を受賞

「CX-3」

- **5月** 新型「ロードスター」を発表
- **6月** 新型「ロードスター」から「電子取扱説明書」を導入
  2015年グッドウッド・フェスティバル・オブ・スピードに参加
- **7月** 新世代ヘッドランプ技術「アダプティブ・LED・ヘッドライト」が「第9回キッズデザイン賞」を受賞
- **9月** フランクフルトモーターショーで「マツダ越 KOERU」を初公開
  ドイツにおいて3つのデザイン賞を受賞
- **10月** 東京モーターショーでコンセプトモデル「Mazda RX-VISION」を世界初公開

「Mazda RX-VISION」

- **11月** 4代目「マツダ ロードスター」が「2015～2016日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞
  新型3列ミッドサイズクロスオーバーSUV「CX-9」をロサンゼルスオートショーにて世界初公開
- **12月** 4代目「ロードスター」が「日本カー・オブ・ザ・イヤー」を受賞
  新世代商品のグローバル生産台数が300万台を突破

2016

2016年
- **1月** 「Mazda RX-VISION」がフランスで最も美しいコンセプトカーに選出
- **2月** 新型「マツダ CX-9」の生産を開始

「CX-9」

- **3月** 2016年参加型モータースポーツイベント等の協賛計画を発表
  リトラクタブルハードトップモデル「MX-5 RF」を世界初公開
  4代目「ロードスター」が2016年「ワールド・カー・オブ・ザ・イヤー」、「ワールド・カー・デザイン・オブ・ザ・イヤー」を受賞
- **4月** 新型クロスオーバーSUV「CX-4」を世界初公開
  「ロードスター」が世界累計生産100万台を達成
- **5月** 「アクセラ」が世界累計生産500万台を達成
  「CX-3」、JNCAPファイブスター賞を平成27年度最高得点で受賞
  「SKYACTIV-D」の燃焼室構造が平成28年度全国発明表彰「恩賜発明賞」を受賞
- **7月** 「アクセラ」を大幅改良
  マツダ、新世代車両運動制御技術「SKYACTIV-VEHICLE DYNAMICS」を発表
- **8月** 「アテンザ」を商品改良
  G-ベクタリング コントロールと自動ブレーキ技術が第10回キッズデザイン賞を受賞
- **10月** 「MX-5 RF」の生産を開始
  「CX-3」「デミオ」の商品改良車を発表
- **11月** 「ロードスター RF」を発表
  ロサンゼルス自動車ショーにて新型「CX-5」を世界初公開
  新ボディカラー「ソウルレッドクリスタルメタリック」を開発
  「CX-4」が「2017中国カーデザイン・オブ・ザ・イヤー」を初受賞
- **12月** 「アクセラ」、2016年度自動車アセスメント予防安全評価において最高ランク「ASV++」を獲得
  「ロードスターRF」が「オートカラーアウォード2016」グランプリを受賞
  新型「CX-5」を発表

「ロードスター RF」

社歴

2017

経営

2017年

2月 「健康経営優良法人～ホワイト500～」の認定を取得

3月 防府工場における新型「CX-5」の生産を決定

先進安全技術「i-ACTIVSENSE」の標準装備化を発表

8月 トヨタとマツダ、業務資本提携に関する合意書を締結

技術開発の長期ビジョン「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言2030」を公表

「サステイナブル“Zoom-Zoom”宣言2030」を公表

9月 マツダ、世界的な
ESG投資指標「Dow Jones Sustainability Index」に初選定

マツダ、マレーシアにおける生産体制を強化
ー8月に新型「CX-5」の現地組立を開始ー

マツダ、デンソー、トヨタが電気自動車の共同技術開発契約を締結

商品

2017年

3月 「CX-3」が「タイランド・カー・オブ・ザ・イヤー2016」を受賞

「魂動」を表現したフレグランス「SOUL of MOTION」が
ドイツiFデザインアワード2017（パッケージ部門）金賞を受賞

4月 先進安全技術を標準装備した「デミオ」を発売

ー「i-ACTIVSENSE」標準装備化の第一弾、
全機種「安全運転サポート車（サポカーS・ベーシック）」に該当ー

「MX-5 RF」が
独「2017年レッド・ドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞

6月 「CX-3」がWLTCモード走行試験の認可を取得

「CX-3」にガソリンエンジン車を追加

7月 米国IIHS安全性評価試験でマツダ全対象車種が最高評価
「2017トップセーフティピック＋」を獲得

8月 「マツダ アクセラ」を商品改良ー「360°ビュー・モニター」を採用ー

9月 新型3列シートクロスオーバーSUV

「マツダCX-8」を発表

「CX-8」

10月 マツダ、コンセプトモデル「マツダ 魁 CONCEPT」と
「マツダ VISION COUPE」を東京モーターショーで世界初公開

11月 マツダ、低環境負荷で高質感のバイオエンジニアリングプラスチックを
「マツダ CX-5」のフロントグリルに採用

2018

経営

2018年

1月 マツダとトヨタ、米国アラバマ州に合弁新工場を建設
ー2021年稼働開始に向けて、16億米ドルを投資し、
約4000名を雇用ー

マツダ、タイのパワートレイン工場にエンジン機械加工工場を開所
ータイにおけるエンジン生産の能力は年間10万基へー

マツダ、国連グローバル・コンパクトに署名

3月 マツダとトヨタ、米国合弁新会社
「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.」を設立

マツダ／エリーパワー／宇部興産、自動車始動用
12Vリチウムイオンバッテリーの共同開発契約を締結

4月 防府第2工場、本年8月に2直操業へ

5月 マツダ、国内生産累計5,000万台を達成

国内生産累計5,000万台を達成

6月 マツダ、「ひろしま “Your Green Fuel” プロジェクト」への
参画について

10月 マツダ、米国環境保護庁（EPA）燃費トレンドレポートの
「企業平均燃費値」で5年連続総合1位獲得

マツダ、心と体を元気にするクルマづくりを目指した、
電動化とコネクティビティの技術戦略を公表

11月 マツダとトヨタの米国合弁新工場
「Mazda Toyota Manufacturing, U.S.A., Inc.（MTMUS）」
くわ入れ式を実施

MTMUS鍬入れ式

商品

2018年

2月 「マツダ VISION COUPE」がフランスにて
「最も美しいコンセプトカー」に選出

次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」がイタリアにて
「Q Global Tech Award」を受賞

「マツダブランドを支えるものづくり ー魂動デザインー」が
第7回ものづくり日本大賞経済産業大臣賞を受賞

3月 「マツダ VISION COUPE」が欧州にて
「コンセプトカー・オブ・ザ・イヤー」を受賞

4月 次世代ガソリンエンジン「SKYACTIV-X」が
「2018 Edison Award（エジソン賞）」の金賞を受賞

5月 「マツダ CX-8」、JNCAPファイブスター賞を
平成29年度最高得点で受賞
ー予防安全性能に加え、衝突安全性能でも
JNCAP最高評価を獲得ー

マツダ、自動車用水性塗装システム「アクアテック塗装」が
平成30年度全国発明表彰「発明賞」を受賞

10月 マツダ、車両運動制御技術「G-ベクタリング コントロール
プラス(GVC Plus)」を開発

マツダ、「Tokyo Midtown DESIGN TOUCH 2018」に出展
ー次世代デザインビジョンモデル
「マツダ VISION COUPE」とアート作品の融合ー

11月 「マツダCX-8」が「2018～2019日本自動車殿堂カーオブザイヤー」を受賞

新型「MAZDA3」を世界初公開
ーマツダ新世代商品の幕開けー

12月 三次市でコネクティビティ技術を活用した移動サービス実証実験を開始ー地域住民、行政機関とともに地域の活性化につながる社会貢献モデル構築を目指すー

新型「MAZDA3」

2019

経営

2019年

1月 中国におけるエンジン生産合弁会社の社名を「長安マツダエンジン有限公司」に変更
ー「長安フォードマツダエンジン有限公司」のフォード保有株式をマツダが取得ー

3月 広島市民球場の命名権に関する契約を締結
ー球場名は「MAZDA Zoom-Zoomスタジアム広島」を継続ー

6月 監査等委員会設置会社に移行

いすゞ、スズキ、SUBARU、ダイハツ、マツダがMONETと資本・業務提携

商品

2019年

1月 1310MPa級高張力鋼板冷間プレス部品を世界で初めて開発
ー新型「MAZDA3」から順次採用ー

「マツダCX-8」が2018年国内3列シートSUV販売台数第1位を獲得

2月 「MX-5」30周年記念車を世界初公開ー世界3,000台限定で販売ー

「ロードスター30周年記念車」

「CX-30」

3月 新世代商品第二弾となる新型コンパクトクロスオーバーSUV「マツダ CX-30」を世界初公開

4月 新型「MAZDA3」が独「2019年レッド・ドット：ベスト・オブ・ザ・ベスト賞」を受賞

ニューヨーク自動車ショーにて、米国向け「マツダ CX-5」
クリーンディーゼルモデルの受注開始を発表

新型「マツダ教習車」を発表ー教習車の理想を追求したコンパクトセダンー